



液晶ペンタブレット

DTU-2231

DTU-1631C

DTU-1631E

ユーザーズガイド

本機の使い方

本機のセットアップ

電子ペンの使い方

電子ペンのカスタマイズ

画面の使い方

画面のカスタマイズ

ラジアルメニューの使い方

特定のソフトウェアに対する設定

トラブルシューティング





製品の保証についてのお願い

保証規定をよくお読みになり、お買い上げから1年間は保証書を保管してください。保証書に販売店による記入がない場合は、直ちに販売店にお申し出になるか、ご購入時の領収書（またはその写し）を保証書に添付して保管してください。保証書に、販売店による記入も領収書の添付もない場合は、保証書が無効になります。

また、本製品の保証は日本国内においてのみ有効です。

電波障害自主規制等について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

商標について

Wacom は、株式会社ワコムの登録商標です。

Adobe、Acrobat、Adobe Reader は、アドビシステムズ社の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Apple、Apple ロゴ、Macintosh は、米国およびその他の国で登録されたアップルコンピュータ社の登録商標です。

Windows は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の会社名、および製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。なお、本文中では「TM」「®」マークを表記しておりません。

著作権について

付属のタブレットドライバの著作権は、株式会社ワコムにあります。

タブレットドライバ、および本書の内容の一部または全部を、無断で複製、転載することは禁止されています。

タブレットドライバを含む本製品の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

液晶ペンタブレットユーザズガイド

Version 2.0, Rev A2510

© 2010 Wacom Co., Ltd. All rights reserved.

上記の年は、このマニュアルが作成された年を示しています。

しかしながら、マニュアルがユーザに公開される日は、該当するワコム製品が市場に導入される時と同時です。





目次

本書について	5	サイドスイッチのカスタマイズ	38
本書の使い方	6	ボタン機能	39
本機の使い方	7	ラジアルメニューの使い方と設定	43
本機の機能	8	マッピング画面切り替えを使う	44
本体正面	8	特定のソフトウェアに対する設定	45
本体裏面	10	特定のソフトウェアに対する設定を作成する	46
本機の角度を調整する	11	特定のソフトウェアに対する設定を変更する	47
電子ペンの機能	12	特定のソフトウェアに対する設定を削除する	47
本機のセットアップ	13	トラブルシューティング	48
システム要件	13	本機のテスト	49
ステップ1: ディスプレイのセットアップ	14	電子ペンのテスト	50
ステップ2: ペンタブレットのセットアップ	19	ディスプレイのトラブルシューティング情報	51
ケーブルの取り付け	19	ディスプレイの一般の問題	51
タブレットドライバのインストール	20	アナログ RGB 接続の問題	53
本機を使用する	21	タブレットのトラブルシューティング情報	54
姿勢と作業環境を整える	21	一般的な問題	54
電子ペンの使い方	22	Windows での問題	57
電子ペンを手に持つ	22	Macintosh での問題	58
ポインタの位置決め	22	テクニカルサポート	60
クリック	23	ドライバのダウンロード	61
ダブルクリック	23	付録	62
ドラッグ	23	本機のお手入れ	62
サイドスイッチを使う	24	ペン先を交換する	63
筆圧を使って描画する	24	マウントアームに取り付けて使う	64
消しゴムを使う	24	タブレットドライバのアンインストール	65
マルチディスプレイ環境で使う	24	タブレット設定ファイルの管理	66
アプリケーションボタンの使い方 DTU-1631C	25	複数タブレットの設置	67
画面を調整する	26	Windows でのペンおよびデジタルインク機能	68
画面の調整	26	Windows Tablet PC 入力パネルについて	69
省電力機能	29	製品仕様	70
本機をカスタマイズする	30	モデル DTU-2231 液晶ペンタブレット	70
コントロールパネルを開く	30	モデル DTU-1631 液晶ペンタブレット	72
コントロールパネルの概要	31	電子ペン	74
ペン先の位置調整	33	Radio and television interference	75
画面が液晶パネルからはみ出したり、文字が にじんだりしたら (アナログ RGB の場合)	34	FCC notice	75
電子ペンのカスタマイズ	35	Industry Canada (Canada only)	76
ペン先の感触とダブルクリックの調整	35	CE declaration	76
消しゴムの感触の調整	36		
ペン先と消しゴムの筆圧の詳細設定	37		





安全上のご注意	77
使用上のご注意	80
用語	82
索引	84
お問い合わせ / 修理依頼票	88
Wacom international offices	89





本書について

本書は、液晶ペンタブレット（以後、「本機」と呼びます）の使い方を知りたいときに役立ちます。本書に記載されている情報は、Windows と Macintosh コンピュータに共通するもので、特に指定のない限り Windows の画面を例にして説明しています。

また、各機種に共通の操作は、DTU-2231 を例にして説明しています。

機種により機能が異なる場合には、[DTU-2231](#) [DTU-1631E](#) [DTU-1631C](#) のように機種名を付加し、機種ごとの説明を記載しています。

- [目次](#)または[索引](#)で項目をクリックすると、その項目に移動することができます。
- ダイアログボックス、コントロールパネルなどのオプションの名前は、「 」で囲んで表示しています。
- マニュアルを拡大表示するには、ビューアのズームインツールを使用してください。
- 特定のコンピュータハードウェア、オペレーティングシステム、ソフトウェアに関する情報は、この製品には含まれておりません。これらの情報については、ハードウェア、オペレーティングシステム、ソフトウェアに付属するマニュアルをお読みください。
- タブレット機能（筆圧、消しゴム機能など）は、多くのソフトウェアでサポートされています。機能をサポートするソフトウェアについてはワコムホームページをご覧ください。
- 特定のソフトウェアでタブレットの機能を最大限に活用する方法に関する情報は、そのソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

タブレットドライバおよび本機の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。





本書の使い方

本書の中を移動するには、次のボタンやテキストをクリックします。



表紙へ移動します。

目次

目次のはじめへ移動します。

索引

索引のはじめへ移動します。



見た順に表示を戻ります。



ページ番号順に戻ったり、進んだりします。

[トピック](#)

トピックへ移動します。



次のトピックへ進みます。

Adobe Reader には、本書の使用および印刷のための追加的なツールが用意されています。使い方については、Adobe Reader のヘルプをご覧ください。





本機の使い方

本書は、お買い上げいただいた本機の[設置](#)と[使い方](#)について説明します。

コントロールパネルで、本機と電子ペンの設定をカスタマイズできます。詳しくは、[本機をカスタマイズする](#)をご参照ください。

[本機の機能](#)

[本機の角度を調整する](#)

[電子ペンの機能](#)

特定のハードウェア、オペレーティングシステムまたはソフトウェアに関する情報は、本製品に付属していません。これらの情報に関しては、ご使用中のハードウェア、オペレーティングシステムまたはソフトウェアに付属のマニュアルをご参照ください。





本機の機能

本機の各部の名称と機能について説明します。

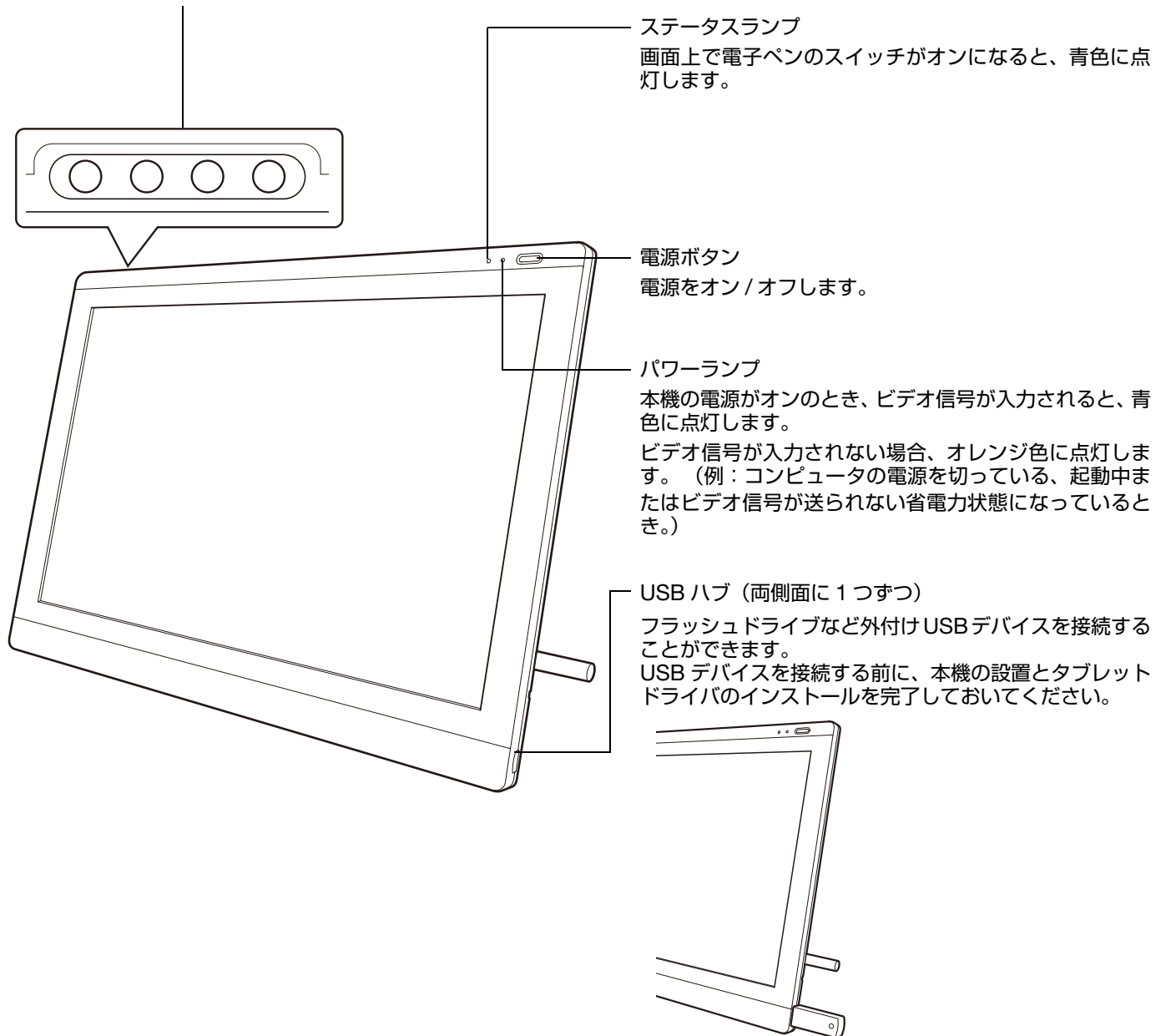
本体正面

DTU-2231

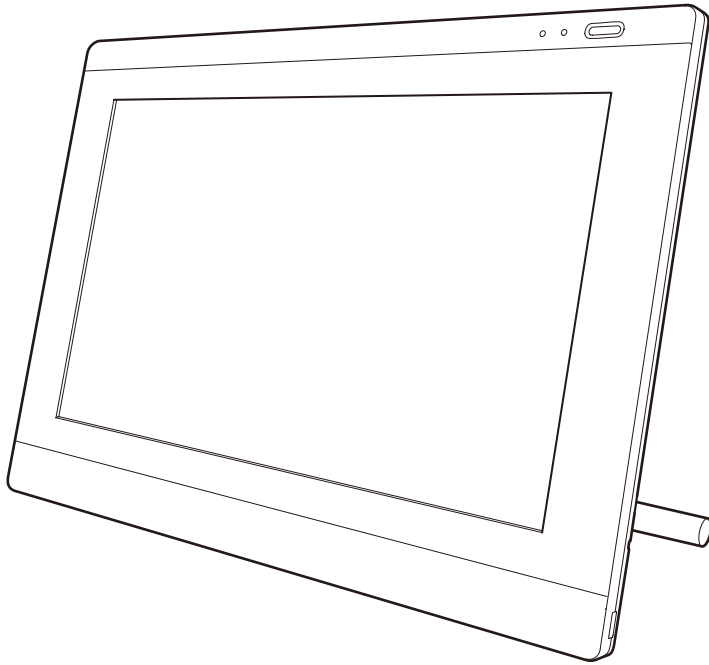
ボタン部 (OSD コントロール)

画面設定に使用します。

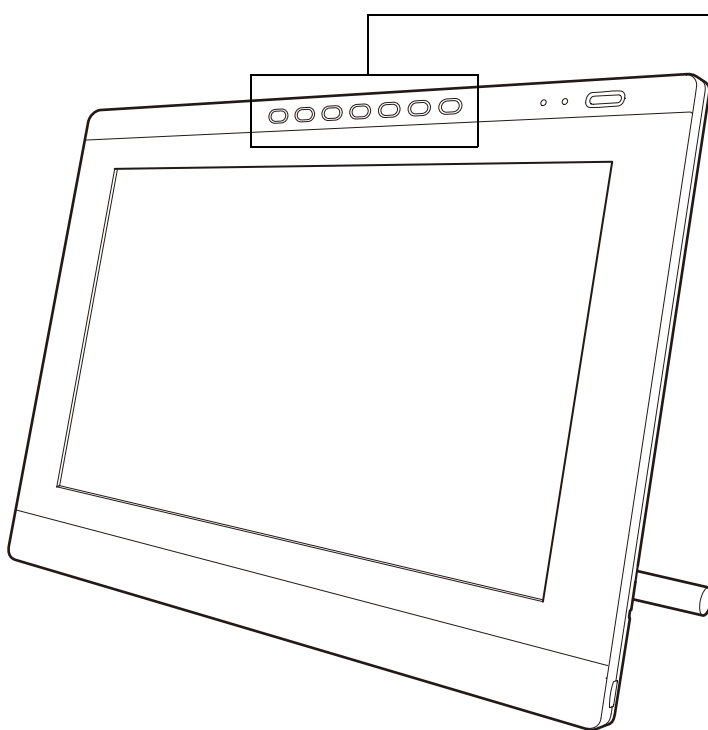
[画面を調整する](#)を参照してください。



DTU-1631E 各部の名称と機能は、DTU-2231 と同じです。



DTU-1631C アプリケーションボタン以外の各部の名称と機能は、DTU-2231 と同じです。



アプリケーションボタン

ズームインやズームアウト機能、およびアプリケーションボタンに対応したソフトウェアで割り当てられた機能をワンタッチで行うことができます。
[アプリケーションボタンの使い方](#)を参照してください。



本体裏面

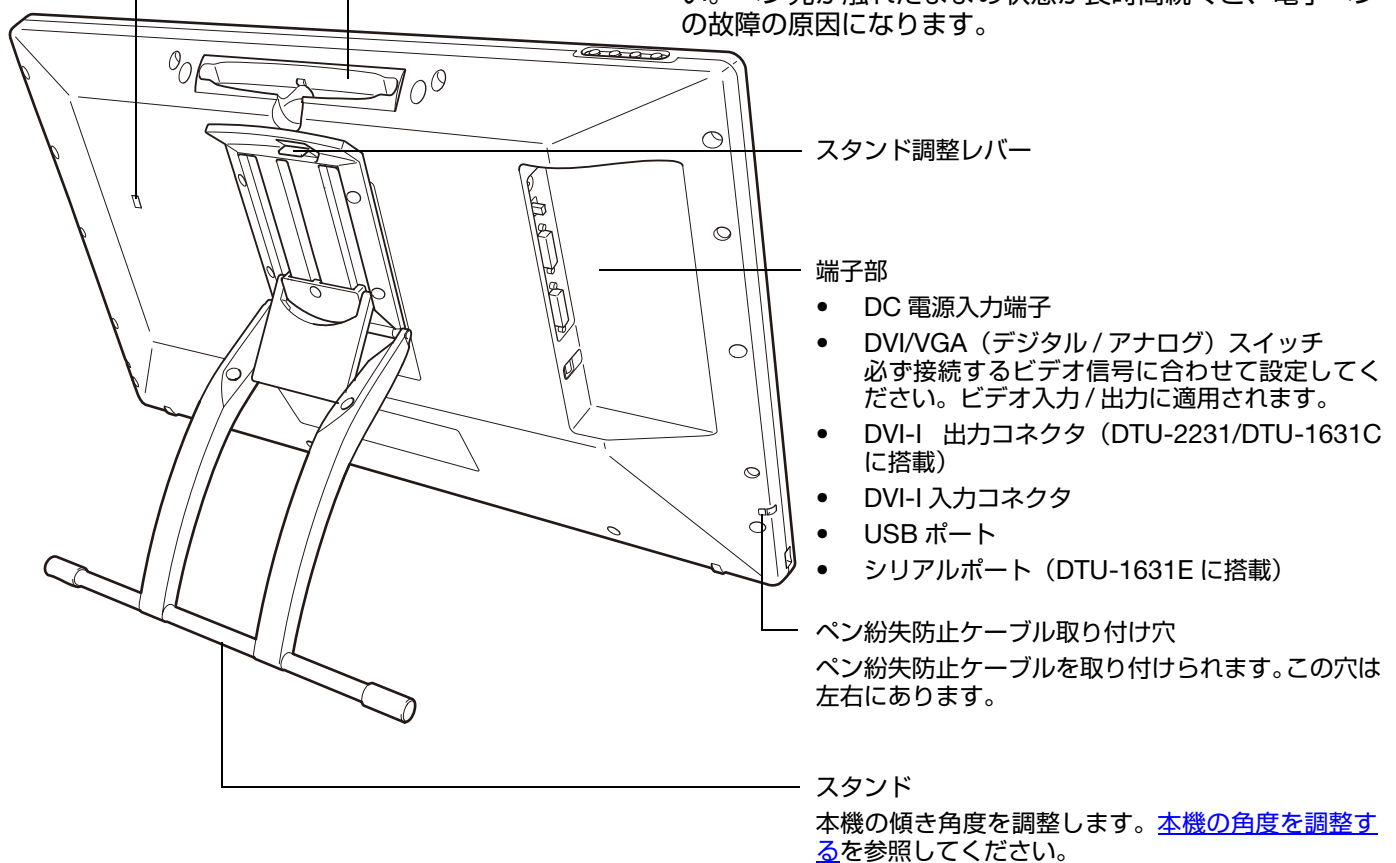
セキュリティロック・
スロット
セキュリティケーブルを
取り付けることができま
す。

ペンホルダー

ケースの片側にペンの片側を入れ、続いて反対側をゆっくりと押し込んでください。

ケースから取り出すときは、ペンの片側を押して反対側を浮かせ、手で持って取り出します。ペン先を傷つけないように注意してください。

注意： ペン先がホルダーの壁面に触れないように収納してください。ペン先が触れたままの状態が長時間続くと、電子ペンの故障の原因になります。



重要： スタンドを持って本機を持ち上げないでください。スタンドを破損するおそれがあります。本機を持ち上げたり、動かす場合、必ず本体をしっかり持って行ってください。





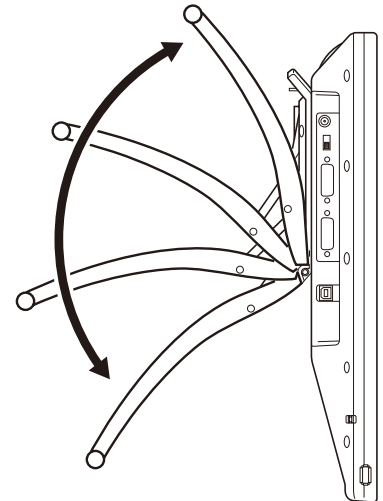
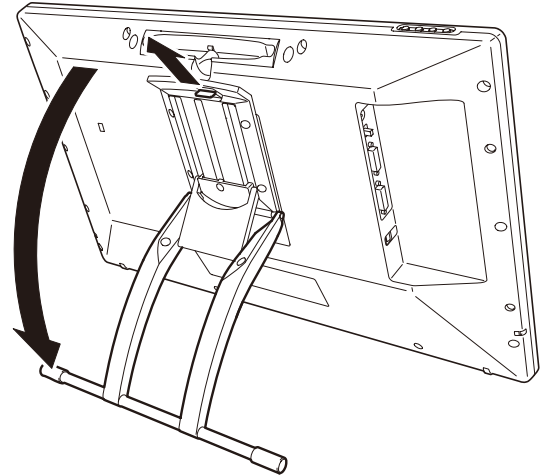
本機の角度を調整する

- スタンドを開くには、調整レバーを引き上げてロックを外し、スタンドを外側に使いやすい角度まで開きます。レバーから指を離すと、その位置でスタンドはロックされます。
- スタンドを閉じるには、調整レバーを引き上げてロックを外し、スタンドを元の位置に静かに戻します。レバーから指を離すと、その位置でスタンドはロックされます。

⚠ 注意

スタンドの可動部のすき間に指をはさまれないようにご注意ください。

スタンド調整レバーを引くときは、必ずスタンドに手を添えて支えてください。スタンドが倒れ破損やけが、故障の原因になります。





電子ペンの機能

消しゴム：画面から 5 mm 以内にテールスイッチ (消しゴム) を近づけると、操作エリアはテールスイッチの位置を認識します。テールスイッチを押すと、筆圧が感知されます。標準設定では、テールスイッチは「消しゴム」に設定されています。

お知らせ 消しゴム機能は、対応しているアプリケーションソフトウェアでのみお使いになれます。

ペン紛失防止ケーブル取り付け穴：

電子ペンをなくさないよう、付属のペン紛失防止ケーブルで本機につなぐことができます。(モデルによりケーブル穴がないペンもあります)

サイドスイッチ：設定された機能をワンタッチで使うことができます。

ペン先が画面に触れていなくてもサイドスイッチは使用できます。標準設定では、上側は「ダブルクリック」下側は「右ボタンクリック」に設定されています。

お知らせ 誤ってサイドスイッチを押さないように持ってください。

ペン先 (交換可能)：画面から 5 mm 以内にペン先を近づけると、操作エリアはペン先を認識します。これにより、ペン先で画面に触れずにポイントの位置決めができます。

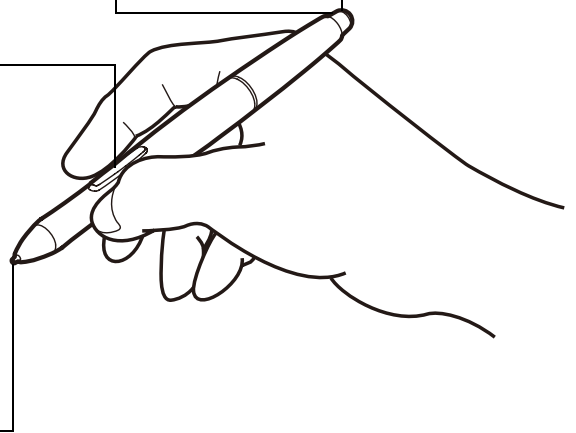
画面に触れると、電子ペンはマウスの左ボタンクリックと同じ働きをします。ペン先のクリック圧は、コントロールパネルで調整できます。

補足： 電子ペンを使用していないときは、本機のペンホルダーに収納するか、付属のペンスタンドに立てておく、または机の上に横にして置いてください。

ペン先や消しゴムが押された状態になる入れ物にペンを収納しないでください。ペンが故障する場合があります。

一部の製品構成では、ペンにサイドスイッチまたは消しゴムが付いていない場合があります。

重要： 本機に付属の電子ペンのみをご使用ください。その他のペンは正しく機能しないことがあります。また、ペン先は本機の画面に対応して設計されています。付属品以外のペン先を使うと、画面を破損するおそれがありますので、使用しないでください。





本機のセットアップ

コンピュータは、本機を2つの別々の機器（ディスプレイとペンタブレット）として認識します。したがって、本機を準備する手順は2段階に分けて行います。

- 初めに、ディスプレイのセットアップを行います。
- 次に、ペンタブレットのセットアップを行います。

手順をよくお読みの上、正しく行ってください。

重要： 必ずタブレットドライバをインストールしてください。

[システム要件](#)

[ステップ1：ディスプレイのセットアップ](#)

[ステップ2：ペンタブレットのセットアップ](#)

システム要件

ご使用中のコンピュータが次のシステム要件を満たしていることをご確認ください。

- Windows の場合：
 - Windows 7、Vista、XP（64ビット版を含む）
 - アナログ RGB または DVI コネクタ
 - 利用可能な USB ポート
 - 利用可能なシリアルポート（DTU-1631E のみ）
 - 利用可能な CD-ROM ドライブ
- Macintosh の場合：
 - Mac OS X 10.4 以上
 - DVI またはアナログ RGB コネクタ
 - 利用可能な USB ポート
 - 利用可能な CD-ROM ドライブ

本機は、デジタル（DVI）とアナログ（VGA）の両方のビデオ信号に対応しています。グラフィックボードを利用して本機を接続する場合は、まずグラフィックボードの取り付けを完了してください。グラフィックボードの取り付け方法は、コンピュータやグラフィックボードに付属の取扱説明書をご覧ください。

補足： 本機は、マルチディスプレイ環境で使用することができます。マルチディスプレイの接続・設定については、本書では説明しておりません。ご使用のコンピュータまたはオペレーティングシステムの取扱説明書をご覧ください。

[マッピング画面切り替え](#)機能は、マルチディスプレイ環境で利用することができます。これにより、ペンによる操作を本機と他のディスプレイ間で切り換えることができます。

DTU-2231 および DTU-1631C は、別のディスプレイやプロジェクターなどを接続する為の DVI-I 出力端子を装備しています。この端子に接続したディスプレイの表示はミラーリングになります。別のディスプレイを接続する前に、DTU-2231 または DTU-1631C のセッティングを完了してください。



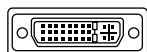


ステップ1：ディスプレイのセットアップ

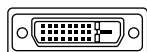
このステップでは、ディスプレイとしてのセットアップ手順を説明します。

重要： ステップ1ではUSB接続ケーブルまたはシリアルケーブル（DTU-1631Eのみ）を接続しないでください。また、コンピュータまたは本機の電源が入った状態で、ビデオケーブルまたは電源ケーブルを抜き差ししないでください。本機またはコンピュータが故障することがあります。

1. 本機、およびコンピュータの電源を切ります。
2. コンピュータに搭載されているディスプレイポートがデジタル（DVI）かアナログ RGB（VGA）かを確認し、接続するディスプレイポートに合わせて DVI/VGA スイッチを切り替えます。[接続図の - A -](#) を参照してください。
3. 本機の DVI-I コネクタとコンピュータのディスプレイポートを接続してください。コネクタのネジを締めてください。[接続図の - B -](#) を参照してください。



DVI-I コネクタ



DVI-D コネクタ

DVI 接続の場合：付属の DVI-DVI ケーブルで、本機の DVI-I 入力コネクタとコンピュータの DVI コネクタを接続します。



アナログ
RGB コネクタ

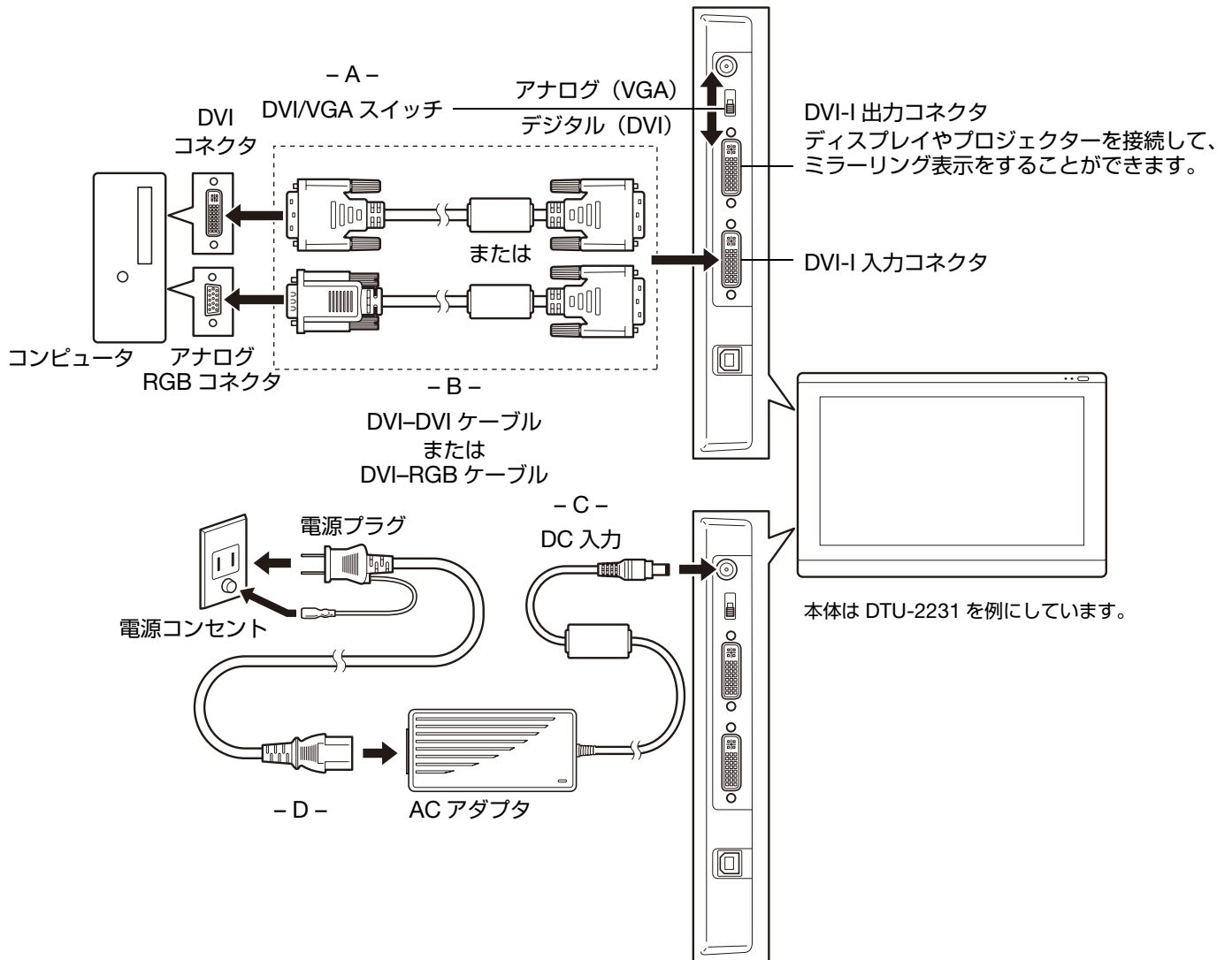
アナログ RGB 接続の場合：付属の DVI-RGB ケーブルで、本機の DVI-I 入力コネクタとコンピュータのアナログ RGB コネクタを接続します。

4. AC アダプタを本機に接続します。[接続図の - C -](#) を参照してください。
5. 電源ケーブルを AC アダプタに接続し、電源プラグを 100V 電源コンセントに差し込みます。[接続図の - D -](#) を参照してください。
6. 本機の電源をオンにします。パワーランプがオレンジ色に点灯します。



接続図

DTU-2231/DTU-1631C

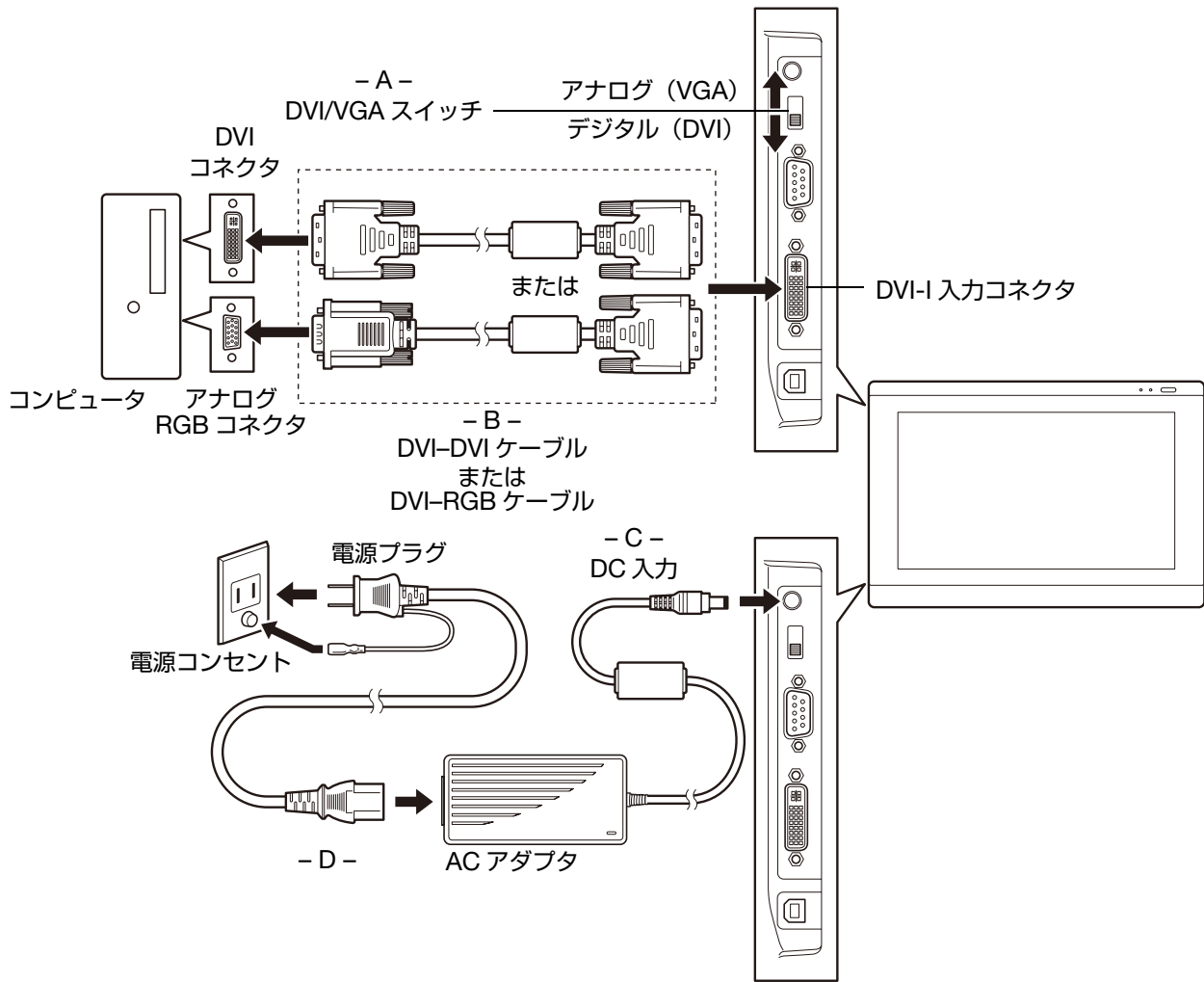


⚠ 注意

DVI/VGA スイッチが接続するディスプレイポートに合わせて正しく設定されているか確認してください。
 本機に付属の AC アダプタをご使用ください。付属品以外の AC アダプタを使用すると、本機を破損するおそれがあります。



DTU-1631E



⚠ 注意

DVI/VGA スイッチが接続するディスプレイポートに合わせて正しく設定されているか確認してください。
 本機に付属の AC アダプタをご使用ください。付属品以外の AC アダプタを使用すると、本機を破損するおそれがあります。





7. コンピュータの電源を入れます。

Windows の場合：本機は、自動で標準のディスプレイとして設定されます。（お使いのモデルによっては、カラープロファイルを含んでおりません。）ICC カラープロファイルをインストールするには、以下の設定を行ってください。

A) コントロールパネルを開く

- Windows 7 と Vista の場合：「デスクトップのカスタマイズ」で、「画面の解像度の調整」を選択します。
- Windows XP の場合：「画面のプロパティ」コントロールパネルを開き、「設定」タブを選択します。

コンピュータに他にもディスプレイが接続されている場合、「識別」をクリックして、本機となるディスプレイを選択してください。

B) 「詳細設定」をクリックします。

C) 「モニタ」タブを選択し、「プロパティ」をクリックします。

D) 「ドライバ」タブを選択し、「ドライバの更新」をクリックします。ドライバの更新ダイアログまたはウィザードが表示されます。

E) タブレットドライバ CD を挿入します。「ワコムタブレット」インストールメニューが表示された場合は閉じます。

Windows 7 と Vista の場合：

- 「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します」を選択します。
- タブレットドライバ CD のドライブレターを入力し、「次へ」をクリックします。
- インストールが完了した後、コントロールパネルを閉じます。

Windows XP の場合：

- システムからドライバを検索するか尋ねるウィザードが表示されます。「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」をクリックします。
- タブレットオプションを選択し、「ディスク使用」をクリックします。CD-ROM ドライブのドライブレター（例：E:¥）を入力し、「次へ」をクリックします。
- 画面表示に従って操作を進めてください。（「ハードウェアのインストール」ダイアログボックスが表示されたら、「続行」をクリックします。）インストールが完了した後、「完了」をクリックして、開いているコントロールパネルウインドウを閉じます。

Macintosh の場合：ICC カラープロファイルは、タブレットドライバのインストール中にカラーマネジメントシステムに追加されます。（お使いのモデルによっては、カラープロファイルを含んでおりません。）本機でカラープロファイルを使用する場合は、システムの ColorSync コントロールパネルのタブレットプロファイルを選択する必要があります場合があります。詳細については、ご使用のオペレーティングシステムおよびソフトウェアの取扱説明書で、カラーマネジメントシステムを参照してください。





8. コントロールパネルから適切な解像度と色数の設定を行ってください。
本機で使用可能な解像度と色数については、[製品仕様](#)を参照してください。解像度と色数は、ご使用のコンピュータやグラフィックボードの性能によって制限されることがあります。
Windows の場合：本機をセカンドディスプレイとして使用する場合は、最初にコントロールパネルから本機の接続を有効にする設定が必要な場合があります。
 9. 本機の OSD メニュー画面を開き、「画像設定」－「オートアジャスト」を選択します。詳しくは[画面を調整する](#)を参照してください。
画面を微調整するには、[画面を調整する](#)を参照してください。アナログ RGB を使っている場合、[画面が液晶パネルからはみ出したり、文字がにじんだりしたら（アナログ RGB の場合）](#)も合わせて参照してください。
 10. 画面設定が完了しましたら、[ステップ 2：ペンタブレットのセットアップ](#)に進みます。
トラブルに関するヒントは、[トラブルシューティング](#)を参照してください。
- 補足： 本機のパネルは、厳しい品質基準に基づき製造されておりますが、画素欠点や常時点灯の画素がある場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 画像に微細ストライプ（画面の縞模様など）がある場合、ちらつきまたはモアレを表示しているように見ることがあります。
- ディスプレイ画面に過度の圧力を加えないでください。モアレまたは水たまりのような模様が現れる原因になることがあります。
- 同じ画面を長時間表示したあと残像が生じることがありますが、時間がたつと徐々にもとにもどります。スクリーンセーバーを使用することで、残像の発生を軽減させることができます。
- 本機のバックライトをより長くご使用いただくには、長時間画面を使用しないときは電源を切るようにコンピュータの電源オプションを設定してください。



ステップ 2：ペンタブレットのセットアップ

このステップでは、ペンタブレットとしてのセットアップ手順を説明します。

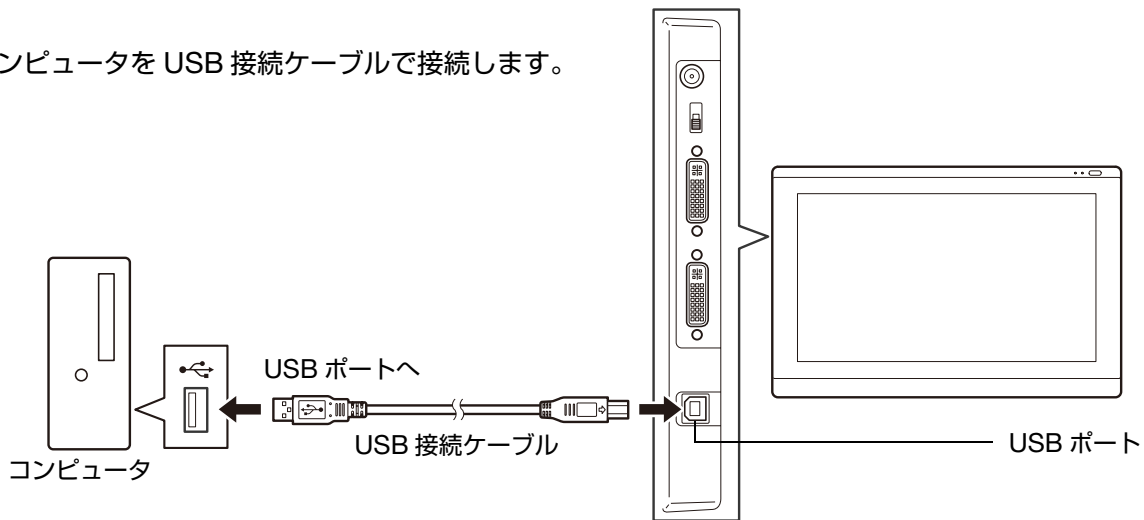
[ケーブルの取り付け](#)

[タブレットドライバのインストール](#)

ケーブルの取り付け

DTU-2231/DTU-1631C

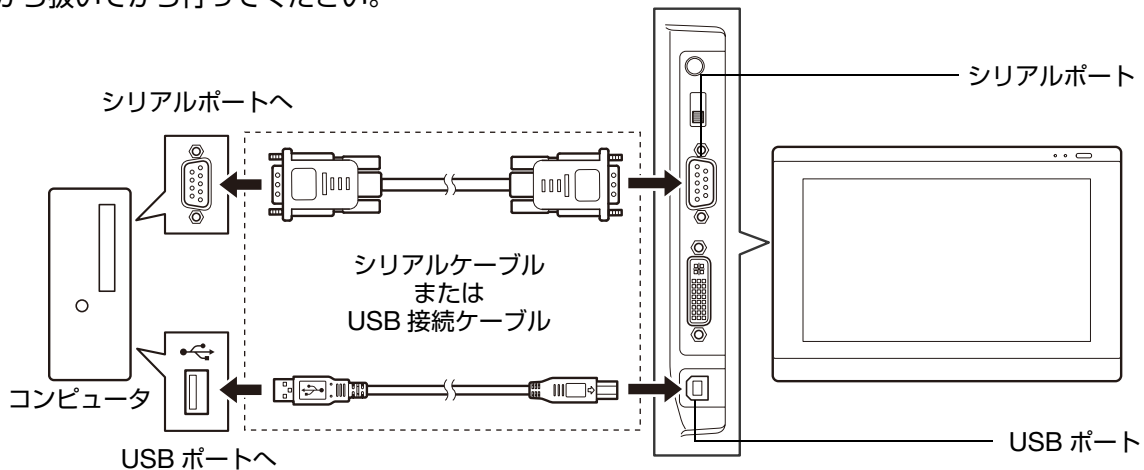
本機とコンピュータを USB 接続ケーブルで接続します。



DTU-1631E

本機とコンピュータを USB 接続ケーブルまたはシリアルケーブルで接続します。

重要： シリアルケーブルを接続する場合は、本機およびコンピュータの電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。



重要： タブレットをシリアルケーブルで接続してお使いの場合は、本機の USB ハブ機能はお使いになれません。次に、[タブレットドライバのインストール](#)に進みます。



タブレットドライバのインストール

作業を保存し、開いているソフトウェアをすべて閉じます。

- タブレットドライバ CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。インストールメニューが表示されます。インストールメニューが自動的に表示されない場合は、CD を開き「インストール」アイコンをダブルクリックします。(ワコムホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードできます。)
- 「タブレットのインストール」をクリックし、画面の指示に従ってタブレットドライバをインストールします。
- タブレットドライバの使用許諾契約が表示されます。内容に同意したら「同意する」をクリックします。

おしらせ 「タブレットを接続する」画面が表示されたときは
本機とコンピュータの接続を確認してください。

- インストールが完了したら「OK」をクリックします。

おしらせ ドライバの更新の場合は
「直ちにシステムを再起動する」をクリックしてください。コンピュータが自動的に再起動されます。

ヒント：ドライバのインストールが正常に行えない場合、ウイルス監視プログラムを一時的に OFF にして試してみてください。ドライバのインストールが完了しましたら、必ずウイルス監視プログラムを ON にしてください。

- タブレットドライバのインストール完了後、本機の上で電子ペンを使用してポインタが動くことを確認してください。

ペン先を画面上に置くと、ポインタは直ちにペン先のほぼ下の位置に飛びます。ペン先を持ち上げ、画面上の異なる位置に置くと、ポインタは再び新しい位置に飛びます。

- 更新情報については、「Read Me」ファイルをご確認ください。タブレットドライバのインストールがうまくいかない場合は、[トラブルシューティング](#)を参照してください。
- DTU-1631C をお使いの場合、タブレットドライバのインストール終了後、続いてボタンドライバがインストールされます。

補足： タブレットドライバをインストールすると、Microsoft Windows 7、Vista、および Office 2007 以降 (Windows 7 Starter および Windows Vista Home Basic を除く) 内で利用可能な新しいペン入力の機能が自動的に起動します。電子ペンを Windows で使用する場合の詳細については、以下のワコムのホームページをご覧ください。

<http://tablet.wacom.co.jp/windows/index.html>

ユーザ固有の環境設定をサポートします。ログイン後に各ユーザは、コントロールパネルで個人設定をカスタマイズできます。ユーザを切り替えると、自動的に新しいユーザの設定に切り替わります。

タブレットドライバをアンインストールする場合、[タブレットドライバのアンインストール](#)を参照してください。

本機が正しく動作しない、またはポインタをコントロールできなくなった場合、本機の環境設定に異常が生じたおそれがあります。現在の環境設定を削除し、本機をお買い上げ時設定の状態に戻すことができます。[タブレット設定ファイルの管理](#)を参照してください。

ポインタの位置を正確にペン先に合わせる場合は、[ペン先の位置調整](#)を参照してください。





本機を使用する

本機を使用するときは、紙に書くときと同じように電子ペンを持ち、軽く手を画面上に載せます。

画面の位置は机よりも少し高くなるので、入力デバイスをスムーズに使うために、机または椅子の高さを調整してください。

[姿勢と作業環境を整える](#)

[電子ペンの使い方](#)

[マルチディスプレイ環境で使う](#)

[画面を調整する](#)

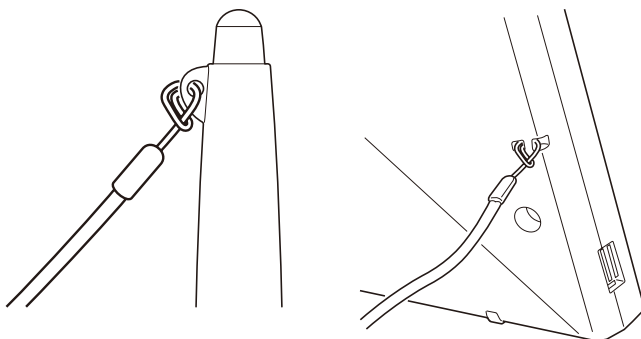
姿勢と作業環境を整える

疲労を軽減させるために、作業環境を整え、楽に作業ができるようにしてください。タブレット、電子ペン、キーボードを手の届きやすい場所に配置してください。目を疲れさせずに、楽に見ることができるような場所に本機やその他のディスプレイを置いてください。

- 作業の合間に短い休憩をはさみ、ストレッチをして筋肉をほぐすようにしてください。
- 電子ペンを持つときは、なるべく力を抜いて持ちます。
- 1日のうちで異なる作業を入れ替えて行います。
- 常に正しい姿勢を保ちます。不快感を伴う不自然な姿勢や、反復動作を控えてください。
- 作業姿勢に不快感を感じたら、姿勢を変えてください。

ヒント：本機をコンピュータから離しすぎて、ケーブルがコネクタやポートから抜けてしまわないように注意してください。

ペン紛失防止ケーブルを使って、電子ペンと本機をつないでおくことができます。ペン紛失防止ケーブルの一方の端をペンの取り付け穴に結び、もう一方の端を本機の左右のペン紛失防止ケーブル取り付け穴のどちらかに取り付けます。



本機は、VESA 規格に対応しているマウントアーム、または市販のスタンドにも取り付けることができます。詳細は、[マウントアームに取り付けて使う](#)を参照してください。





電子ペンの使い方

電子ペンはコードレスおよび電池レスです。また、ペン先にかかる筆圧を感知します。

[電子ペンを手に持つ](#)

[ポインタの位置決め](#)

[クリック](#)

[ダブルクリック](#)

[ドラッグ](#)

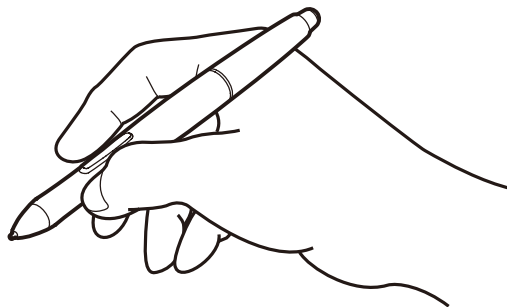
[サイドスイッチを使う](#)

[筆圧を使って描画する](#)

[消しゴムを使う](#)

電子ペンを手に持つ

通常のペンや鉛筆のように持ってください。本機を使用するときは、軽く手を画面上に載せます。

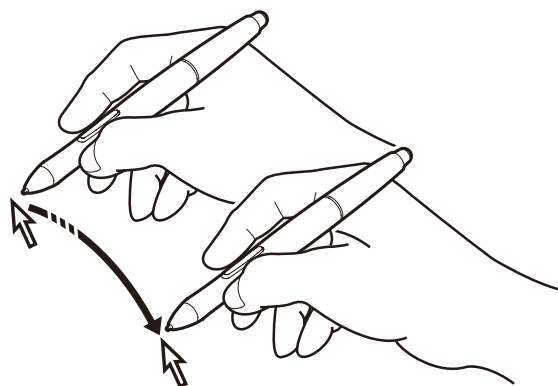


ペンの設定変更については、[本機をカスタマイズする](#)を参照してください。

ポインタの位置決め

画面上でポインタの位置を決めるときは、画面に触れずにペンを画面の少し上で動かします。続いてペン先で画面にタッチして選択します。

補足：[ペン先の位置調整](#)をすると、ポインタの位置を正確にペン先と合わせることができます。ペン先を画面に置いてもポインタがペン先の近くに移動しない場合には、タブレットドライバがインストールされていないか、起動していない可能性があります。必要に応じて、タブレットドライバをインストールしてください。また[トラブルシューティング](#)を参照してください。





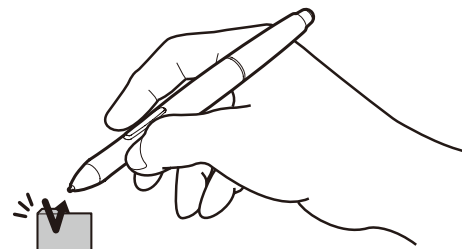
クリック

画面をペン先で1回軽くたたか、クリックと認識されるぐらいの筆圧でペン先を画面に押し当てます。

ヒント Windowsの場合：電子ペンでの操作をより簡単にする設定。電子ペンをアイコン上で1回クリックするとアイコンが起動するように、Windowsを設定できます。この機能を使うときは、まずフォルダを開き、続いて以下の設定を行ってください。

Windows 7 と Vista の場合：「整理」プルダウンメニューから、「フォルダと検索のオプション」を選択します。「一般」タブで「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選択します。

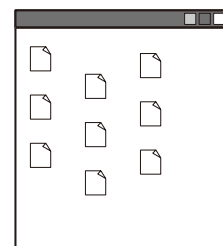
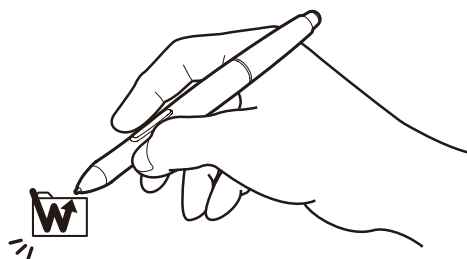
Windows XP の場合：「ツール」プルダウンメニューから、「フォルダオプション」を選択します。「全般」タブで「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選択します。



ダブルクリック

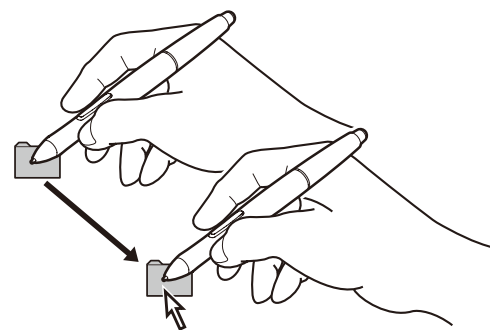
上側のサイドスイッチを押すか（「ダブルクリック」に設定されている場合）、または同じ場所でディスプレイ画面をペン先で素早く2回、軽くたたきます。

ダブルクリックしやすく微調整する方法については、[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)を参照してください。



ドラッグ

オブジェクトを電子ペンでタッチし、次にペン先を画面上でスライドさせて、オブジェクトを動かします。





サイドスイッチを使う

標準の電子ペンにはサイドスイッチが付いています。サイドスイッチは上下2つあり、押すことによりあらかじめ設定されている機能が働きます。ペン先が画面の近く（5 mm 以内）にあるときは、いつでもサイドスイッチを使用することができます。ペン先で画面に触れる必要はありません。標準設定では、上側のスイッチは「ダブルクリック」、下側のスイッチは「右ボタンクリック」に設定されています。スイッチの機能はコントロールパネルで変更または無効にすることができます。[本機をカスタマイズする](#)を参照してください。

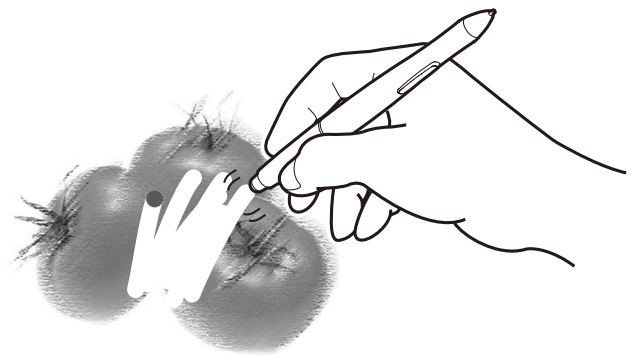
筆圧を使って描画する

電子ペンは手の動きに反応し、自然な感じのペンとブラシのストロークを作成します。筆圧対応のアプリケーションは、ペンに加えられた筆圧に反応します。

消しゴムを使う

消しゴム機能に対応するソフトウェアでは、電子ペンのテールスイッチは鉛筆の消しゴムのように機能します。文章作成ソフトでは、テールスイッチで文字を選び、続いて画面からペンを持ち上げて文字を消去します。

重要： 筆圧機能と消しゴム機能は、これに対応したアプリケーションでのみ有効です。



マルチディスプレイ環境で使う

本機およびセカンドディスプレイを同一のコンピュータに接続して、マルチディスプレイ環境で使用することができます。

マルチディスプレイ環境で使用する場合には、セカンドディスプレイを操作するオプションがいくつかあります。

- 電子ペンのサイドスイッチを「マッピング画面切り替え」機能に設定します。続いてサイドスイッチを押すと、本機とセカンドディスプレイとの間でポインタを切り替えることができます。たとえば、ご使用中の装置を液晶ペンタブレット（ポインタの位置はペン先）として使用したり、切り替えて通常のタブレット（ポインタをデスクトップ全体またはセカンドディスプレイ上で移動可能）として使用したりできます。詳細は、[マッピング画面切り替えを使う](#)を参照してください。
- サイドスイッチの1つを「ペン⇄マウスモード」に設定します。これによって本機の上で作業するペンモードとセカンドディスプレイ上で作業するマウスモードをすばやく切り替えることができます。





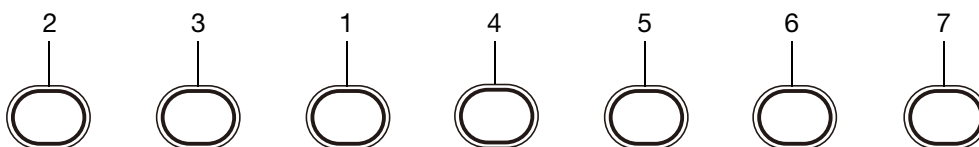
アプリケーションボタンの使い方 DTU-1631C

本機前面のアプリケーションボタンを使うと、ワンタッチでズームインやズームアウト機能、およびアプリケーションボタンに対応したソフトウェアで割り当てられた機能などが働き、作業効率のアップに役立ちます。

重要

- アプリケーションボタンは DTU-1631C のみの機能です。
- アプリケーションボタンは、Windows パソコンでのみお使いいただけます。アプリケーションボタンを使うには、ボタンドライバをインストールしてください。[タブレットドライバのインストール](#)を参照してください。

各部の名称と働き



番号	機能
1~5	アプリケーションボタンに対応したソフトウェアで割り当てられた機能が働きます。 対応したソフトウェア：ペンワークス、白板ソフトプロ
6	ズームイン（拡大）機能が働きます。
7	ズームアウト（縮小）機能が働きます。





画面を調整する

標準設定（お買い上げ時の設定）：画面を最適品質にする場合には、コンピュータを本機で利用可能な最大解像度に設定します。

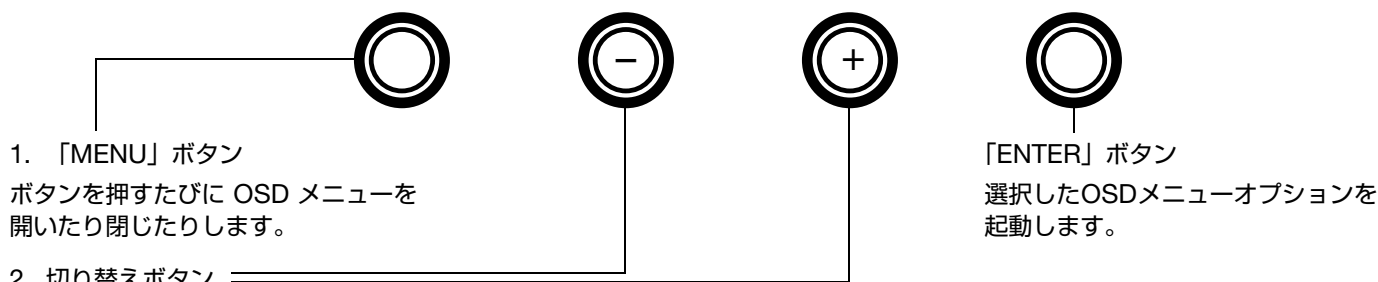
オートアジャスト機能：本機は、自動的に入力信号に同期します。オートアジャスト機能によって、水平および垂直位置、ピッチおよびフェーズが設定されます。オートアジャスト機能は、サポートする水平および垂直周波数レンジ間で機能します。

本機が自動的に入力信号と同期しない場合は、OSDメニューのオートアジャスト機能を使用して調整することができます。さらに OSD メニューを使用して、手動で画面表示を調整できます。

色補正：色、色温度、コントラスト、明るさ、またはバックライトを標準設定値から変更すると、設定した ICC カラープロファイルは無効になります。（お使いのモデルによっては、カラープロファイルを含んでおりません。）

画面の調整

様々な表示設定を、ワンタッチのボタン操作で最適化できます。本体の上部左端にあるボタン部を使用して調整を行います。



各ボタンを使用してオプションを選択しハイライト表示させます。次に「ENTER」ボタンを押すと、現在の設定と選択中のオプションの調整用サブメニューが表示されます。ディスプレイの入力信号が DVI の場合は、一部の設定を使用できません。

各ボタンを押して、オプションの選択と調整を行います。（+ ボタンを押して選択した項目の値を増やし、- ボタンで減らします。）変更した後、「ENTER」ボタンを押して変更値を保存します。

オプションメニューの詳細は、以下のページを参照してください。

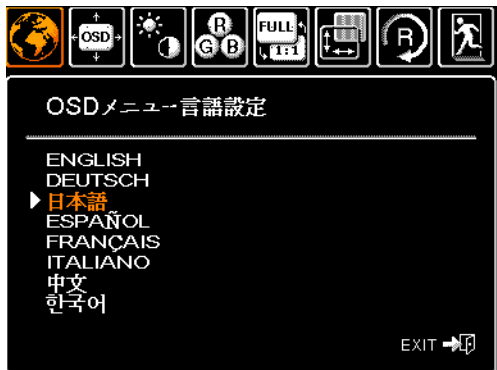
補足： 設定変更後、しばらくすると OSD メニューは自動的に閉じます。

「MENU」ボタンを押しても閉じることができます。OSD メニューが閉じると設定はすべて自動的に保存されます。画面表示を変更した結果元の設定に戻れなくなった場合は、「リセット」オプションを使用すると本機をお買い上げ時の初期設定に戻すことができます。





メニューオプションは、OSD メニューを開くと使用できます。



「OSD メニュー言語設定 (LANGUAGE)」オプションを使用して、OSD メニューの表示言語を設定できます。

おしらせ お買い上げ時は「ENGLISH」(英語表示) に設定されています。



「OSD メニュー表示設定 (OSD POSITION)」オプションは以下の通りです。

- 「垂直位置」 OSD メニュー画面の垂直位置を微調整できます。
- 「水平位置」 OSD メニュー画面の水平位置を微調整できます。
- 「透明度」 OSD メニュー画面の透明度を微調整します。



「表示設定 (DISPLAY)」オプションは以下の通りです。

- 「コントラスト」 画面のコントラストを調節します。
- 「明るさ」 画面の明るさを調節します。
- 「バックライト輝度」 バックライトの明るさを調節します。



「カラー設定 (COLOR)」オプションは以下の通りです。

- 「5000K、6500K、9300K」 画面の色温度を設定できます。
- 「ダイレクト」 無調整で、コンピュータからの映像信号を直接表示します。このときはコントラストまたは明るさの調整はできません。
- 「ユーザー設定」 「R (赤)」、 「G (緑)」、 および 「B (青)」 の表示色を個別に調整できます。

補足： 色設定を手動で変更すると、ICC カラープロファイルが無効になります。(お使いのモデルによっては、カラープロファイルを含んでおりません。)





「表示サイズ設定 (SCALING)」オプションは以下の通りです。

- 「全画面」画面全体に表示します。
- 「縦横比」正確な縦横比を維持しながら最大限度の画面表示を行います。
- 「1:1」実際の解像度で表示します。



「画像設定 (OTHER)」オプションは以下の通りです。

- 「フェーズ」(アナログ RGB のみ) 画像が揺れたりちらついたり横縞などが発生した場合に使用します。ピッチを先に調整してください。
- 「ピッチ」(アナログ RGB のみ) 画像が揺れたりちらついたり縦縞などが発生した場合に使用します。
- 「垂直位置」(アナログ RGB のみ) 画像の垂直位置を変更します。自動調整する場合は、オートアジャスト機能を使用します。
- 「水平位置」(アナログ RGB のみ) 画像の水平位置を変更します。自動調整する場合は、オートアジャスト機能を使用します。
- 「オートアジャスト」(アナログ RGB のみ) フェーズ、ピッチ、水平・垂直位置の全ての自動調整が可能です。



「リセット (RESET)」を使用すると、すべての調整値が工場出荷時の設定に戻ります。



「EXIT」を使用すると、設定を終了し、メインメニュー画面に戻ります。





省電力機能

本機は、VESA のパワーセービングガイドラインに準拠しています。

DPMS (Display Power Management Signaling) コンピュータまたはビデオカードに接続すると、操作していないときには自動的に以下のような省電力状態になります。

これらの省電力機能が有効な場合は、画面表示は通常より暗くなります。

DTU-2231

コンピュータの動作状態	水平同期信号	垂直同期信号	画像信号	消費電力	パワーランプ
電源オン	あり	あり	あり	最大 39W	青色
スタンバイモード	なし	あり	なし	最大 2W	青色 / オレンジ色 *
サスペンドモード	あり	なし	なし	最大 2W	青色 / オレンジ色 *
オフモード	なし	なし	なし	最大 1W	オレンジ色

DTU-1631C/DTU-1631E

コンピュータの動作状態	水平同期信号	垂直同期信号	画像信号	消費電力	パワーランプ
電源オン	あり	あり	あり	最大 29W	青色
スタンバイモード	なし	あり	なし	最大 2W	青色 / オレンジ色 *
サスペンドモード	あり	なし	なし	最大 2W	青色 / オレンジ色 *
オフモード	なし	なし	なし	最大 1W	オレンジ色

* ご使用のコンピュータおよびグラフィックボードの仕様と設定によって、スタンバイおよびサスペンドモード中でもオレンジ色のみ点灯する場合があります。





本機をカスタマイズする

本機の基本的な使い方を習得した後に、本機や電子ペンの機能をカスタマイズします。この章では、コントロールパネルを使い、本機をカスタマイズする方法について説明します。

操作に慣れたユーザは、[特定のソフトウェアに対する設定](#)を作成することにより、本機を最適な状態でお使いいただくことができます。

[コントロールパネルを開く](#)

[コントロールパネルの概要](#)

[ペン先の位置調整](#)

[画面が液晶パネルからはみ出したり、文字がにじんだりしたら（アナログ RGB の場合）](#)

[電子ペンのカスタマイズ](#)

[ボタン機能](#)

[ラジアルメニューの使い方と設定](#)

[マッピング画面切り替えを使う](#)

[特定のソフトウェアに対する設定](#)

コントロールパネルを開く

コントロールパネルは、本機の画面上で電子ペンを使って開くことができます。

Windows の場合：Windows の「スタート」ボタンをクリックして「すべてのプログラム」を選択します。次に、「ワコムタブレット」を選択し、「ワコムタブレットのプロパティ」オプションを選択します。

Macintosh の場合：アップルメニューの「Dock」または「アプリケーション」ホルダーから「システム環境設定」を開きます。次に、「ワコムタブレット」アイコンをクリックします。

コントロールパネルを開き、本機のカスタマイズを始めます。[コントロールパネルの概要](#)を参照してください。

補足： ユーザ固有の環境設定をサポートします。ログイン後に各ユーザは、コントロールパネルで個人設定をカスタマイズできます。ユーザを切り替えると、自動的に新しいユーザの設定に切り替わります。





コントロールパネルの概要

コントロールパネルを使って本機をカスタマイズできます。コントロールパネルを開くと、ペンのアイコンが「入力デバイス」に表示され、その内容に応じてタブが表示されます。

電子ペンと本機をカスタマイズする場合は、タブの設定を変更します。いろいろな設定を試して、最適な設定を見つけてください。設定の変更は直ちに有効となります。「標準設定」をクリックすると、いつでもお買い上げ時の標準設定に戻ります。

補足：[特定のソフトウェアに対する設定](#)は、操作に慣れたユーザ向けです。

コントロールパネルの上の部分は、ご使用のタブレット、入力デバイスおよびソフトウェアの設定を表すアイコンを表示します。

コントロールパネルを閉じます。

ラジアルメニューの設定をカスタマイズするには、「ファンクション」を選択します。マルチディスプレイ環境では、「マッピング画面切り替え」機能も利用することができます。電子ペンの設定をカスタマイズするには「ペン」を選択します。

各タブには、選択した入力デバイスに対してカスタマイズ可能な設定が表示されます。

タブレットとタブレットドライバに関する情報が記載されたダイアログを表示します。「診断」ダイアログボックスにもアクセスできます。

「オプション設定」ダイアログを表示します。

選択したタブの設定を標準設定に戻します。

ユーザズガイド(本書)を表示します。

コントロールパネルのほとんどの項目で、項目の上に画面のポインタを静止させるとヒントがすぐにポップアップします。

さらに、キーボードのタブと矢印キーでコントロールパネルを操作することもできます。



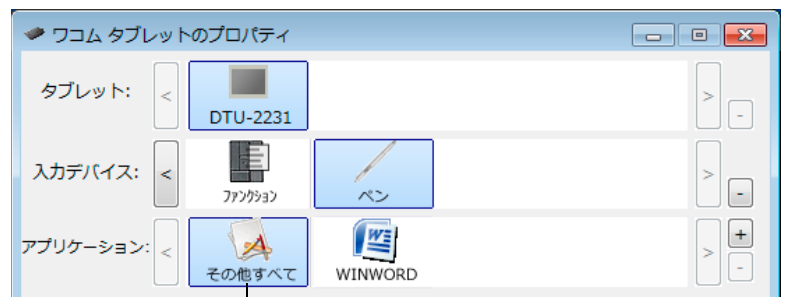


コントロールパネルリストとタブ：コントロールパネルの「タブレット」、「入力デバイス」および「アプリケーション」リストから、設定変更するタブレット、入力デバイス、およびソフトウェアを選択できます。

「タブレット」リストには、コンピュータに接続しているタブレットのアイコンが表示されます。このリストの下に表示される設定はすべて、選択したタブレットに適用されます。

- タブレットがコンピュータに接続されていないときは表示されません。
- 接続しているタブレットの設定を閲覧または変更することができます。
- コンピュータに接続されていないタブレットの設定は、コントロールパネルリストから削除できません。

[複数タブレットの設置](#)も参照してください。



現在の選択がハイライトされます。

「入力デバイス」リストには、「ファンクション」と「ペン」のアイコンが表示されます。

補足： タブレット上で最初に電子ペンを使用すると、電子ペンは自動的に「入力デバイス」リストに加えられ、標準設定で機能します。詳細は、[電子ペンのカスタマイズ](#)を参照してください。

「アプリケーション」リストを使って、特定のソフトウェアにのみ適用する「入力デバイス」設定を定義できます。[特定のソフトウェアに対する設定](#)を参照してください。

補足： 「アプリケーション」リストは操作に慣れたユーザ用です。お使いの電子ペンをカスタマイズするために、ソフトウェアを選択または追加する必要はありません。





ペン先の位置調整

ポインタとペン先の位置を合わせる場合は、ペン先の位置調整を行う必要があります。これは、保護ガラスによる視差の調整のために必要です。本機を通常使用するときの姿勢と目の位置（高さ）で、次の手順を行ってください。

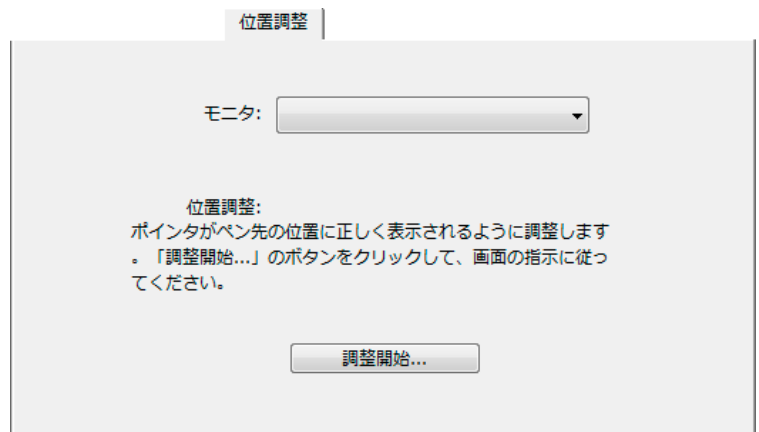
重要： アナログ RGB で接続している場合は、位置調整をする前に、本機の表示が正しく調整されていることを確認してください。

[画面を調整する、画面が液晶パネルからはみ出したり、文字がにじんだりしたら（アナログ RGB の場合）](#)を参照してください。

1. コントロールパネルを開きます。
コンピュータに複数のタブレットを接続している場合は、使用するタブレットを「タブレット」リストから選択します。
2. 「入力デバイス」リストから「ペン」を選択します。
次に「位置調整」タブを選択します。
3. 複数のディスプレイを使用している場合は、「モニタ」欄で本機を選んでください。（コンピュータが認識しているディスプレイがリストに表示されます。）
4. 「調整開始...」をクリックして位置調整画面を開きます。
5. 電子ペンを持ち、通常タブレットを使うときの姿勢と目の位置（高さ）を保ちます。続いて左上角の十字マークの中心をペン先でクリックします。
6. 右下角の十字マークの中心をクリックします。
7. 画面上のいくつかの異なる点にペン先を置いて、位置合わせのテストを行います。
位置調整が正しければ「OK」をクリックします。再度位置調整をする場合は「再試行」をクリックします。

補足： 詳しい説明と追加オプションについては、位置調整画面の指示をお読みください。位置調整設定はすべてのソフトウェアに適用されます。

ヒント： ポインタを実際のペン先の位置から少しずらすには、十字マークからずれた位置を示す点をクリックして位置調整します。たとえば、ポインタの位置をペン先の左上方 2.5 mm に表示させるには、十字マークの右下方 2.5 mm の点をクリックして位置調整します。



十字



[画面が液晶パネルからはみ出したり、文字がにじんだりしたら（アナログ RGB の場合）](#)の調整パターン

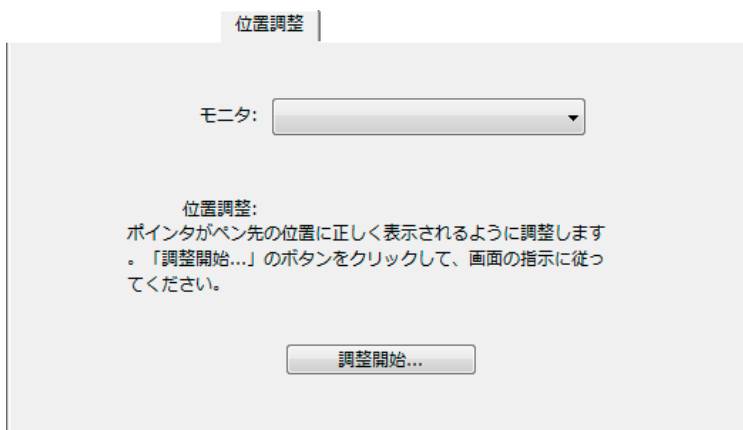




画面が液晶パネルからはみ出したり、文字がにじんだりしたら (アナログ RGB の場合)

コンピュータやグラフィックボードによっては、本機を最初に接続すると画面が液晶パネルからはみ出したり、文字がにじんだりすることがあります。その場合は、「オートアジャスト」機能を使用すると自動で画面の調整をします(画面を調整するを参照してください)。画像がそれでも不鮮明な場合は、以下の手順でピッチとフェーズを調整します。最適な画質を得るには、グラフィックボードを本機で使用可能な最大解像度に設定します。詳細は、製品仕様を参照してください。

1. コントロールパネルから「位置調整」タブをクリックします。
2. 複数のディスプレイを使用している場合は、かならず「モニタ」欄で本機を選んでください。
3. 「調整開始...」ボタンをクリックし、位置調整画面を開きます。
4. [OSD コントロール](#)を使用して OSD メニューを開き、「ピッチ」オプションを選択します。画面調整用ストライプの左右が均一に表示されるようにピッチを調整します。
5. OSD メニューから「フェーズ」オプションを選択します。画面調整用ストライプがもっともくっきり表示されるようにフェーズを調整します。
6. 調整が完了したら、「ENTER」ボタンと「MENU」ボタンを押して OSD メニューを終了します。
7. 「キャンセル」ボタンをクリックするか、「ESC」キーを押して位置調整画面を終了します。



画面調整用ストライプ





電子ペンのカスタマイズ

電子ペンのカスタマイズは簡単に行うことができます。最初に電子ペンでコントロールパネルを開き、「入力デバイス」リストから「ペン」を選ぶと、その内容に応じてタブが表示されます。タブを選択し、使用可能なオプションを設定します。

[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)

[消しゴムの感触の調整](#)

[ペン先と消しゴムの筆圧の詳細設定](#)

[サイドスイッチのカスタマイズ](#)

[特定のソフトウェアに対する設定](#)

ペン先の感触とダブルクリックの調整

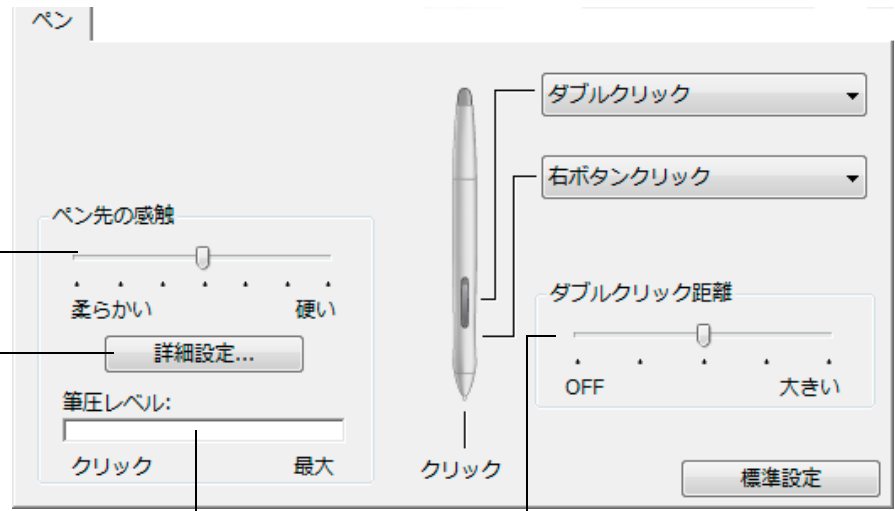
「ペン」タブを選択します。

クリックしたり線を描いたりする際に必要な筆圧を、カスタマイズします。

太い線を書きたい、または軽い力でクリックしたい場合は、より「柔らかい」に設定します。強い筆圧で細い線を書きたいときは、より「硬い」に設定します。

ペン先の感度をさらにカスタマイズできる「[感触の詳細設定](#)」ダイアログボックスを表示します。

画面上の空領域にポインタを置き、ペン先で画面を押して、設定した「ペン先の感触」をテストします。無理なく最大筆圧が得られるように、「ペン先の感触」をスライダで調整します。



ダブルクリックする領域の大きさを調整します。[ダブルクリックアシスト](#)を作動しないようにするには、スライダをOFFの位置へドラッグします。

ヒント:

- 「ペン先の感触」を「柔らかい」の方へ設定すると、筆圧の感度が高まります。筆圧対応のグラフィックソフトウェアでは、この設定をお勧めします。
- ソフトウェアによっては、柔らかい筆圧の設定に過剰に反応する場合があります。電子ペンを少し押しただけでブラシサイズが画面上で拡大する場合は、「ペン先の感触」を「硬い」の方へ設定してみてください。
- ダブルクリック: ダブルクリックを簡単にするには、ダブルクリックする範囲(ダブルクリック距離)を大きくします。
- グラフィックソフトウェアによっては、ダブルクリック距離を大きくしたことにより、ブラシストロークの開始が遅れるため、ドラッグ操作やインクのストロークの開始が遅れることもあります。このような場合はダブルクリック距離を小さく設定し、サイドスイッチを使用してダブルクリックしてみてください。



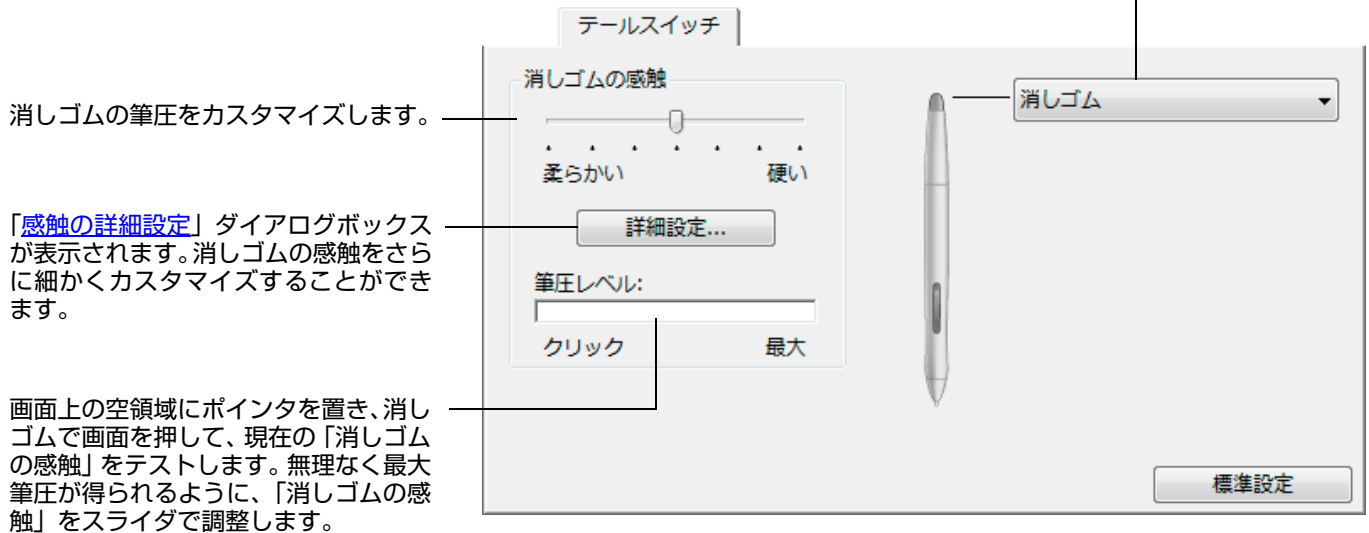


消しゴムの感触の調整

「テールスイッチ」タブを選択します。

補足： 製品によっては、消しゴム機能をサポートしていない場合があります。

消しゴムを使用する場合に実行する [ボタン機能](#) を選択します。



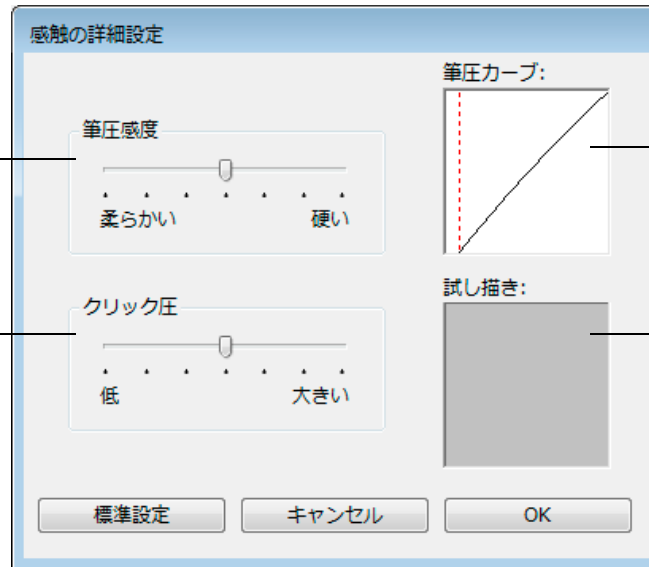


ペン先と消しゴムの筆圧の詳細設定

ペン先、あるいは消しゴムの筆圧を設定する場合、「ペン」、または「テールスイッチ」タブから「詳細設定」ボタンをクリックして、「感触の詳細設定」ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスのオプションで、ペン先または消しゴムの筆圧の感触とクリックのしきい値設定を変更できます。

スライダをドラッグして筆圧感度を選択します。
柔らかいタッチの場合、柔らかい設定を選択します。

スライダをドラッグしてクリックのしきい値を調整します。
この設定で、ペン先クリックに必要な荷重が設定されます。



「筆圧カーブ」は選択した筆圧感度の曲線と「クリック圧」の設定を図で表示します。

急激な増加を表す曲線は、電子ペンの感度が高いことを示します。

ペン先または消しゴムを使用し、ボックス内で数回試し書きをして、変更結果をテストしてください。

重要： 「ペン先の感触」または「消しゴムの感触」スライダは「感触の詳細設定」より優先されます。「感触の詳細設定」をカスタマイズした後でこれらのスライダをドラッグすると、「感触の詳細設定」が削除されます。





サイドスイッチのカスタマイズ

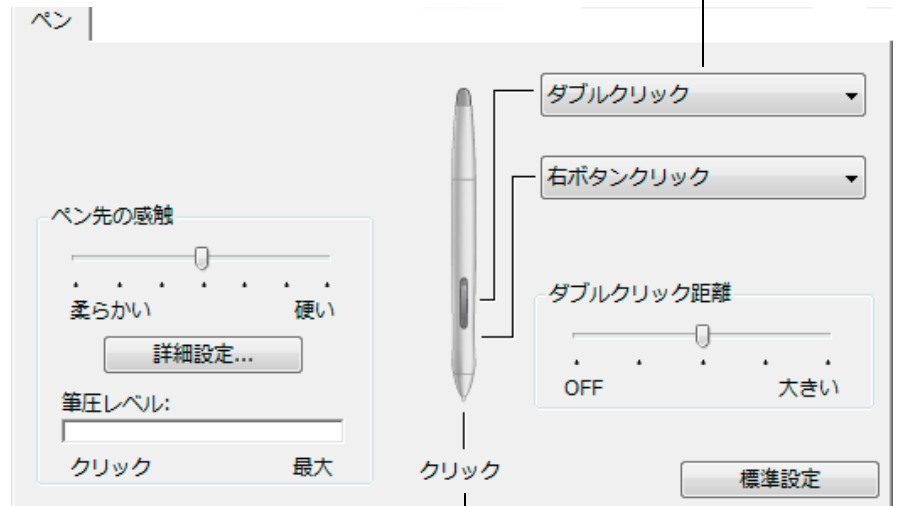
「ペン」タブを選択します。

補足： 製品によっては、サイドスイッチがない場合もあります。

上側または下側のサイドスイッチを押した場合に働く [ボタン機能](#) を選択します。

画面に触れずにペン先を画面から 5 mm 以内に近づけて、上側または下側のサイドスイッチを押すと、設定した機能が実行されます。

ヒント： 簡単にダブルクリックを行うには、「ダブルクリック」を選択して、サイドスイッチが自動的にダブルクリックになるように設定します。



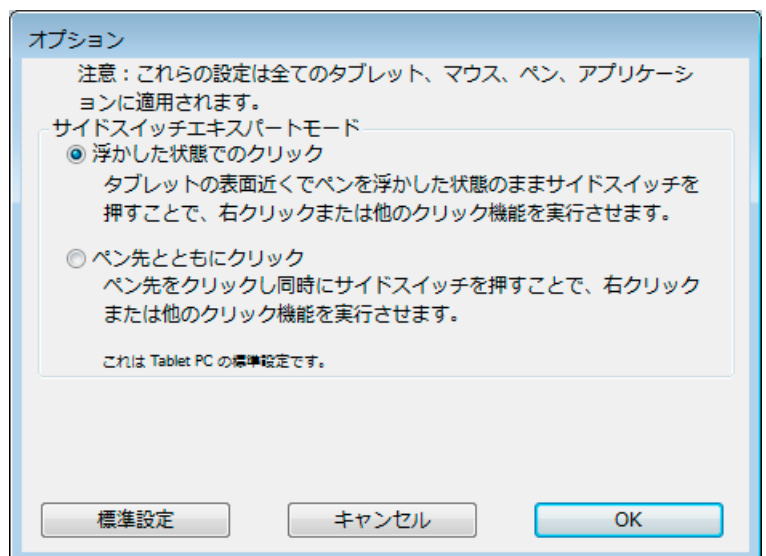
ペン先に割り当てた機能を変更するには、文字の上をダブルクリックします。

- クリックが設定されていないと、ペンでウィンドウの操作ができなくなる場合があります。ペンのボタンのいずれか1つを、必ず「クリック」機能に設定してください。
- グラフィックソフトウェアで線を描くためには、ペン先が「クリック」に設定されている必要があります。

「サイドスイッチエキスパートモード」で、右クリックなどのクリック機能を実行する場合の方法を変えることができます。

コントロールパネル下部の「オプション ...」ボタンをクリックして、「オプション」ダイアログを表示してください。

- 「浮かした状態でのクリック」を選択した場合、ペン先をタブレット面に接触させずにクリック機能を実行することができます。
- 「ペン先とともにクリック」を選択した場合、正確な位置でクリックすることができます。クリック機能を実行するには、サイドスイッチを押しながらペン先をタブレット面に接触させます。これはタブレット PC の標準設定です。





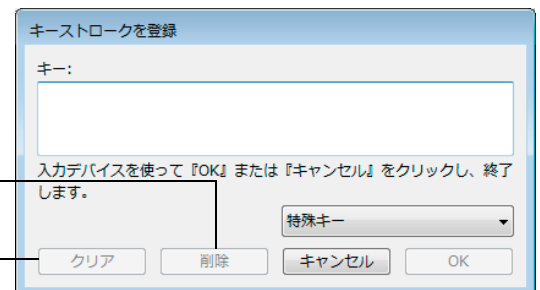
ボタン機能

サイドスイッチ、ラジアルメニューの設定に利用可能なオプションを説明します。ここに示すオプションは、一部の機種や設定に利用できないことがあります。

機能名	内容
クリック	
<ul style="list-style-type: none"> クリック 	<p>クリックを行います。ポインタの操作やクリックが行えるように、必ずボタンの1つに設定してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 右ボタンクリック 	<p>右クリックを行います。クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 中ボタンクリック 	<p>中ボタンクリックを行います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ダブルクリック 	<p>ダブルクリックを行います。ペン先で2度たたく代わりにこの機能を使用すると、ダブルクリック操作が簡単になります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> クリックロック 	<p>スイッチを1回押すと、マウスの左ボタンを押してそのまま押し続けている状態になります。もう一度押すと、左ボタンから指を放す動作になります。クリックロックは、オブジェクトをドラッグする、またはテキストブロックを選択する場合に便利です。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 第4ボタンクリック 	<p>マウスの第4ボタンを押すことに相当します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 第5ボタンクリック 	<p>マウスの第5ボタンを押すことに相当します。</p>
キーストローク	<p>キーストロークをシミュレートできます。このオプションを選択すると、「キーストロークを登録」ダイアログボックスが表示されます。</p> <p>1つのキーストロークか、またはキーストロークを組み合わせる「キー」ボックスに入力できます。キーストロークには、文字、数、F3 のようなファンクションキー、修飾キー (Windows では [Shift]、[Alt]、[Ctrl]、Macintosh では [shift]、[option]、[command]、[control] キー) を組み合わせることができます。</p> <p>「特殊キー」メニューから、特別なキーストローク、またはキーストロークの組み合わせを選択することもできます。</p> <p>キーストロークを入力したら、「OK」をクリックします。</p> <p>重要 : [Enter] キー (Windows) と [Return] キー (Macintosh) は、キーストロークとして定義できるため、「キーストロークを登録」ダイアログボックスの「OK」を選択する場合に使用しないでください。必ず電子ペンを使用して「OK」ボタンをクリックしてください。</p> <p>ダイアログが表示されたら、キーストローク定義に名前を入力します。名前は、それぞれコントロールまたはラジアルメニューに表示されます。</p> <p>キーストローク機能は、ソフトウェアごとに設定できます。詳細については 特定のソフトウェアに対する設定 をご覧ください。</p>

キーストローク入力ボックスに入力した最後の内容のみ削除します。

キーストローク入力ボックスをクリアにします。



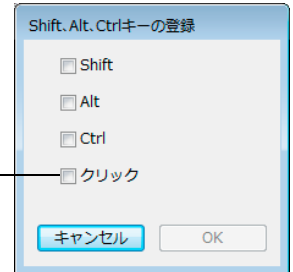
ソフトウェアでサポートされているキーストロークショートカットについては、ソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。





機能名	内容
修飾キー	修飾キー (Windows では [Shift]、[Alt]、[Ctrl] キー、Macintosh では [shift]、[option]、[command]、[control] キー) をシミュレートできます。多くのソフトウェアでは、修飾キーを使用してメニューやツールを切り替えます。

1 つ以上のキーオプションを選択します。「クリック」ボックスをチェックすると、スイッチを押すと必ずマウスのクリックが実行されるようになります。



ラジアルメニュー

画面上にラジアルメニューを表示します。ラジアルメニューの各階層メニューは、8つの項目から構成され、オプション機能を設定できます。

戻る

ブラウザで「戻る」機能を実行します。

進む

ブラウザで「進む」機能を実行します。

スクロール / 移動 (ペンのみ)

「スクロール / 移動」に設定されたサイドスイッチを押して、本機の操作エリアでペン先を滑らせるように動かすと、文書または画像をウィンドウ内で自由に移動させることができます。

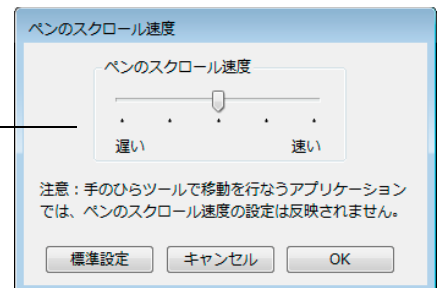
「スクロール / 移動」を選択すると、「ペンのスクロール速度」ダイアログボックスが画面に表示されます。

設定値を小さくすると、スクロールの速度が遅くなります。画像を正確にコントロールしなければならないような細かい作業に有効です。

電子ペンが動く方向に従って文書や画像がスクロール、または移動します。

目的位置までスクロールまたは移動させたら、サイドスイッチを指から離すか、ペン先をタブレットから離してください。

あるソフトウェアでは、文書はペン先の動きにつれて正確にポインタに追従しますが、別のソフトウェアでは文書はポインタと同じ方向に移動するのみです。

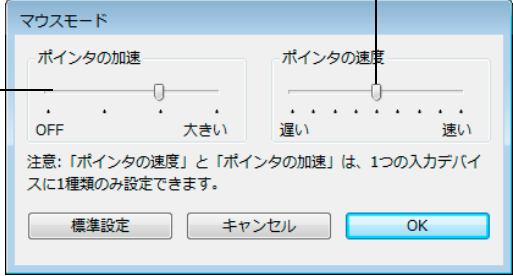




機能名	内容
デスクトップを表示 タスク切り替え	開いているウィンドウをすべて最小化して、デスクトップを表示します。 起動中のソフトウェアの中で、前面に表示させたいソフトウェアをウィンドウ切り替えダイアログから選択できます。Aero を搭載した Windows 7 または Windows Vista では、3D フリップが起動して、前面に表示させたいソフトウェアを選択できます。
開く / 起動	ダイアログボックスを開いて、起動する特定のソフトウェア、ファイル、またはスクリプトを選択できます。 「参照」ボタンをクリックして、起動するソフトウェアを選択します。「起動するアプリケーション」ボックスに、選択したソフトウェアが表示されます。「OK」をクリックします。 <div data-bbox="917 592 1430 814" data-label="Image"> </div> ダイアログボックスが閉じ、選択した「開く / 起動 ...」オプションがボタンオプションとして割り当てられます。スイッチやボタンを押すだけで、割り当てたオプションが実行されず。 ラジアルメニューに選択した場合、ラジアルメニューリストに表示されるようになります。
Ink 文字認識 ON/OFF	(Macintosh) Ink の「手書き認識」機能をオンとオフに切り替えます。Ink は筆跡を認識して、テキストに変換し、ドキュメントに挿入します。この機能を使用するには、Ink をオンにする必要があります。Ink の使い方については、Macintosh のヘルプをご覧ください。
Expose	(Macintosh) : 画面に開いているウィンドウをタイル表示します。ダイアログボックスで「キーストローク」 → 「特殊キー」メニューと選択して、このオプションを表示します。
筆圧一定	ボタンを放すまで、筆圧を一定に保ちます。たとえば、ブラシが好みのサイズになるまで、筆圧を変えながら線を描きます。次にボタンを押すと、ボタンを放すまで同じブラシのサイズで描き続けることができます。
プレジジョンモード	現在のペン先位置周辺のマッピングの比率を変更します。電子ペンを大きく動かしても画面上のポインタは、その 2 分の 1 の距離だけ移動します。このモードを有効にするには、機能が割り当てられたボタンを押し続けます。ボタンを放すと、通常のマッピングに戻ります。 電子ペンが「マウスモード」の場合、ポインタの動作について、加速は「OFF」、速度は「遅い」で動作するように調整されます。 ヒント：マルチディスプレイ環境で「マッピング画面切り替え」機能を使って、他のディスプレイが電子ペンで操作できる場合にお使いください。
マッピング画面切り替え	マルチディスプレイ環境の場合、本機と他のディスプレイの間でポインタを切り替えることができます。選択によって、本機を液晶ペンタブレットとして使用したり（ポインタの位置はペン先）、あるいは標準のワコムタブレットとして使用する（ポインタはデスクトップ全体または他のディスプレイ上を移動できる）ことができます。 マッピング画面切り替えを使う を参照してください。





機能名	内容
ペン⇄マウスモード	<p>ペンモードとマウスモードを切り替えます。デバイスボタンに「ペン⇄マウスモード」に設定すると、「マウスモード」ダイアログボックスが表示され、マウスの加速度とスピードを調整できます。</p> <p>マウスモードではポインタの速度を設定します。</p> <p>マウスモードではポインタの加速を設定します。</p>  <p>「マウスモード」はコントロールパネル内の別のダイアログからでもアクセスし設定できます。「ポインタの加速」と「ポインタの速度」の設定は、カスタマイズ中の電子ペンとソフトウェアにつき、1つしか設定できません。</p> <p>「ポインタの加速」と「ポインタの速度」の設定は、システム設定からは独立しています。コントロールパネルで設定を変更しても、システム側の同内容の項目の設定には影響しません。しかし、システム側で同内容の項目の設定を変更すると、本機の設定に影響する場合があります。</p>
消しゴム	消しゴムとして働きます。テールスイッチの標準設定です。消しゴム機能の使い方に関する情報については、 消しゴムを使う を参照してください。
タブレット PC	
<ul style="list-style-type: none"> Tablet PC 入力パネル Windows Journal Tablet PC の設定に従う 	<p>(Starter を除く Windows 7 あるいは Home Basic を除く Windows Vista) この機能に設定したボタンを押すと、Tablet PC 入力パネルが開きます。</p> <p>(Starter を除く Windows 7 あるいは Home Basic を除く Windows Vista) Microsoft Journal を開きます。</p> <p>(Starter を除く Windows 7 あるいは Home Basic を除く Windows Vista) 以下に示す設定に従ってボタン機能を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Windows 7 および Vista の「Tablet PC 設定」および「ペンと入力デバイス」コントロールパネル
無効	すべてのボタン機能を無効にします。
アプリケーションの設定に従う	ソフトウェアにボタンの数の情報を送ります。この機能は、組み込みサポートを搭載した CAD プログラムなどのソフトウェア用です。
標準設定	ボタンを標準設定に戻します。





ラジアルメニューの使い方と設定

ラジアルメニューは円形のポップアップメニューです。ラジアルメニューを表示するには、電子ペンのサイドスイッチに「ラジアルメニュー」を設定します。スイッチを押すと、ラジアルメニューがポインタの位置を中心として表示されます。

- ラジアルメニューは円形で表示され、機能はデスクトップ全体に広がります。ラジアルメニューは階層で構成されています。メニューの各レベルは、8つの項目で構成され、各項目にはさまざまな機能と選択可能なオプションが設定できます。
- ラジアルメニュー内でメニュー項目をクリックし、利用可能なオプションを選ぶことができます。
- ラジアルメニューからオプション機能を選択すると、メニューは終了します。機能を選択せずにメニューを終了する場合、メニュー中央の「X」ボタンをクリックするか、またはオプション機能が割り当てられていない空の項目をクリックしてください。「ラジアルメニュー」が割り当てられたボタンを押して、再びメニューを表示することができます。

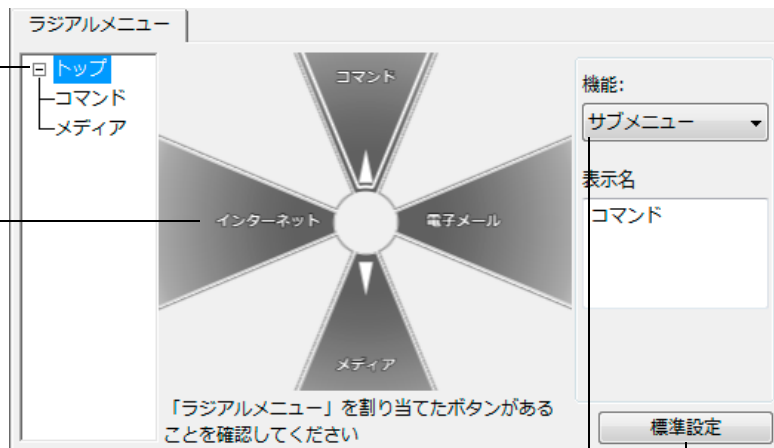


「ラジアルメニュー」タブで、ラジアルメニューに割り当てるオプション機能を設定します。

1. メニューまたはサブメニューを選択します。

2. メニュー項目を選択して、設定をカスタマイズします。

3. 実行する「機能」を選択します。



現在、表示されているラジアルメニューを標準設定に戻します。



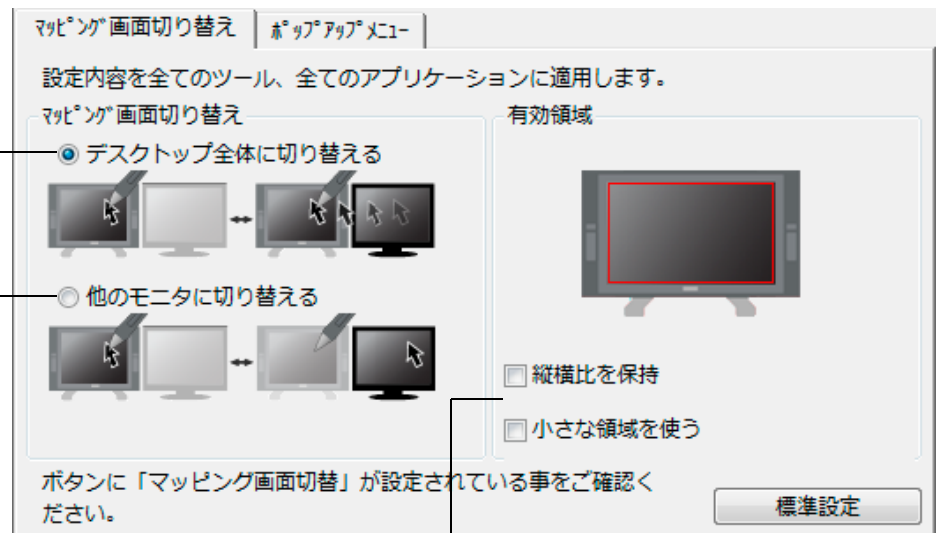


マッピング画面切り替えを使う

「マッピング画面切り替え」はシステムがマルチディスプレイで構成されている場合に利用できます。この機能を使うと、本機の画面上で電子ペンを使いながら、システム上の任意のディスプレイでポインタを操作することができます。電子ペンのサイドスイッチに「マッピング画面切り替え」を設定すると、スイッチを押すたびにポインタの位置を本機と他のディスプレイで切り替えることができます。液晶ペンタブレットとしての使い方（ポインタの位置はペン先）、あるいは標準のワコムタブレットとしての使い方（ポインタはデスクトップ全体または他のディスプレイ上を移動できる）に切り替えることができます。

本機がマルチディスプレイ環境に接続されている場合、コントロールパネルには「マッピング画面切り替え」タブが表示されます。このタブで、各ディスプレイのマッピング方法を設定します。

- 「デスクトップ全体に切り替える」を選択し「マッピング画面切り替え」を割り当てたサイドスイッチを押すと、マルチディスプレイ領域全体を操作できるようになります。サイドスイッチをもう一度押すと、ポインタは本機へ戻ります。
- 「他のモニタに切り替える」に設定しサイドスイッチを押すと、ポインタは他のディスプレイに表示されます。他のディスプレイが複数あるときは、サイドスイッチを押すたびにポインタはディスプレイ間を移動し、最後に最初のディスプレイに戻ります。



重要：「マッピング画面切り替え」で特定のソフトウェアに対する設定を使用している場合、アプリケーションリスト（「その他すべて」も含む）上のカスタマイズ済みのアプリケーション（ソフトウェア）に「マッピング画面切り替え」が割り当てられたボタンがあるかを確認してください。

「有効領域」オプションを使って、画面上の操作エリアのサイズを設定できます。指定すると赤色のインジケータが更新され、選んだ範囲を表示します。

- 「縦横比を保持」は操作エリアのサイズを調整して、本機とデスクトップ全体または新規にマッピングされたディスプレイの間で正確な縦横比率を保持します。設定内容によっては、操作エリアの一部は、このオプションを選択した場合に使用できなくなる場合があります。
- 選択をしないと、正確な縮尺比または比率は維持されません。たとえば、画面に円を描いてもマッピングされたディスプレイ画面上では楕円が描かれます。
- 「小さな領域を使う」は、タブレットの操作エリアを 15.2 × 20.3 cm のサイズに制限します。もし「縦横比を保持」も合わせて選択すると、操作エリアはさらに小さくなります。選択をしないと、タブレットの操作エリアの大部分が本機からディスプレイへのマッピングに使用されます。

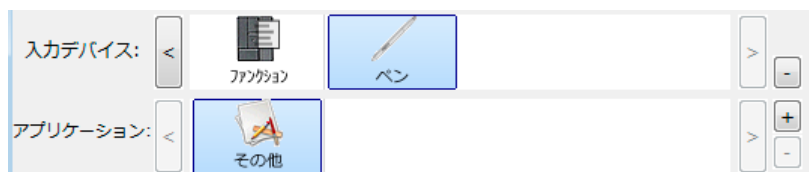




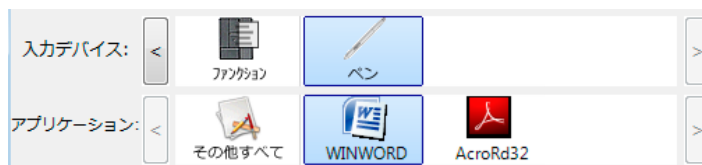
特定のソフトウェアに対する設定

使用する電子ペンは、特定のソフトウェア向けにカスタマイズできます。たとえば、あるソフトウェアでは、ペン先の筆圧を硬めに設定して、他のソフトウェアでは柔らかく設定できます。「アプリケーション」リストにアプリケーション（ソフトウェア）を追加し、次に追加したソフトウェアに対してペンの設定をカスタマイズします。

- ソフトウェアごとの設定を行わずに、電子ペンを「入力デバイス」リストから選択した場合、「アプリケーション」リストには「その他」アイコンが表示されます。「その他」アイコンは、ソフトウェアすべてに電子ペンの設定を適用します。以下の例では、特定のソフトウェアに対する設定が「ペン」に行われていません。そのため、「その他」アイコンが表示されています。「ペン」の設定はすべてのソフトウェアに共通です。



- 特定のソフトウェアに対する設定が、「アプリケーション」リストに加わると、「その他」アイコンは「その他すべて」に変わります。新しく追加されたソフトウェアのアイコンが追加されます。



上記の例では、特定のソフトウェアに対する設定が、「ペン」に追加されています。「その他すべて」アイコンを選択して設定を変更する場合、その変更は、「アプリケーション」リストに追加したソフトウェア以外のすべてのソフトウェアで適用されます。ソフトウェアのアイコンを選択してタブの設定を変更する場合は、そのソフトウェアを使用する間のみ設定が適用されます。

特定のソフトウェアに対する設定を作成すると、選択した電子ペンとソフトウェアに対して個別のグループが作成されます。詳細については次のセクションをご覧ください。

[特定のソフトウェアに対する設定を作成する](#)

[特定のソフトウェアに対する設定を変更する](#)

[特定のソフトウェアに対する設定を削除する](#)



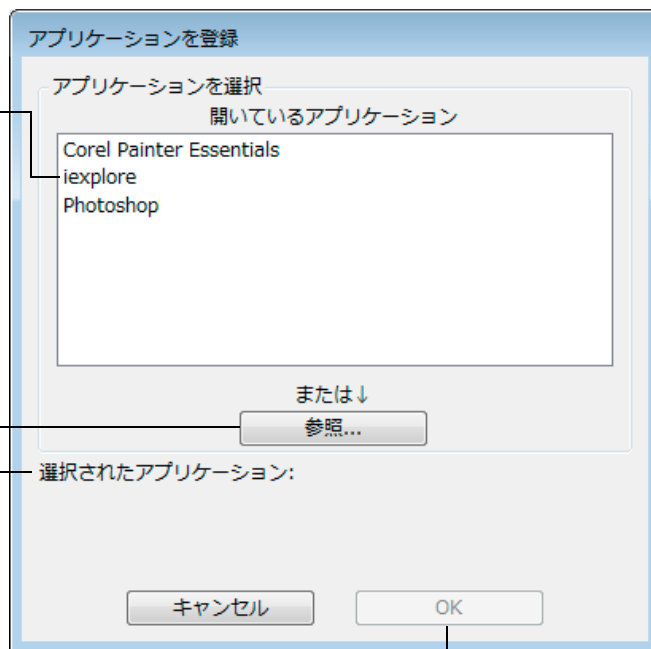


特定のソフトウェアに対する設定を作成する

初めに、特定のソフトウェア向けの設定を作成するタブレットと電子ペンを選択します。次に「アプリケーション」リストの「+」ボタンをクリックすると、「アプリケーションを登録」ダイアログボックスが表示されます。

ソフトウェアを選択するには、次の2つの方法のうちいずれかを選択します。

- 設定を作成するソフトウェアを起動します。次に「開いているアプリケーション」ボックスからそのソフトウェアを選択します。
- 「参照」を選択して、コンピュータにインストールされているソフトウェアの実行ファイルを選択します。



「選択されたアプリケーション」欄に、選択したソフトウェアの名称が表示されます。

「OK」をクリックして、終了します。

補足： 2つのソフトウェアが同じ実行ファイル名をもつ場合、2つのソフトウェアはカスタマイズされた設定を共有します。

ソフトウェアを追加したあと、電子ペンを「入力デバイス」リストから選択すると、追加したソフトウェアのアイコンが「アプリケーション」リストに表示されます。追加したソフトウェアを選択して、次に電子ペンと追加したソフトウェアに対してタブの設定をカスタマイズします。

特定のソフトウェアに対する設定を作成すると、この方法でカスタマイズされなかったソフトウェアには「その他すべて」の入力デバイスの設定が適用されます。

ヒント：任意のソフトウェアに対して設定を作成してみてください。それにより電子ペンが使いやすくなったら、さらに、別のソフトウェア向けにも設定をしてみてください。





特定のソフトウェアに対する設定を変更する

電子ペンの設定を特定のソフトウェア用に変更するには、電子ペンとソフトウェアを選択し、表示されるタブの設定をカスタマイズします。

特定のソフトウェアに対する設定を削除する

特定のソフトウェアに対する設定を削除するには、

1. 「入力デバイス」リストから「ペン」を選択します。次に「アプリケーション」リストから削除するソフトウェアを選択します。
2. 「アプリケーション」リストで [-] ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから「削除」をクリックして選択を確認します。選択したソフトウェアは、作成済みのペンの設定とともにリストから削除されます。

ヒント：電子ペンから特定のソフトウェアに対する設定をすべて削除するには、「入力デバイス」リストから「ペン」を削除します。続いて電子ペンを液晶ペンタブレットの上に戻すと、「ペン」は標準設定の状態で「入力デバイス」リストに追加されます。





トラブルシューティング

トラブルが発生した場合、以下のことを行ってください。

1. タブレットドライバが正しく読み込まなかった場合、画面に表示されるエラーメッセージで推奨される処置をまず行ってください。それでも問題が解決されない場合は、本章のトラブルシューティング手順をご覧ください。
2. 本機が正常に作動しない場合は、トラブルシューティング情報をご覧ください。[ディスプレイのトラブルシューティング情報](#)や[タブレットのトラブルシューティング情報](#)も合わせてご覧ください。問題が記載されている場合、その指示に従ってください。
3. 最新情報については、「Read Me」ファイルをご覧ください。Wacom タブレットホームページにある「よくあるご質問と回答：FAQ」も合わせてご覧ください。
<http://tablet.wacom.co.jp/support/faq/index.html>
4. 本機と新しいハードウェアまたはソフトウェアで互換性の問題が発生した場合は、最新版のタブレットドライバのダウンロードをご検討ください。ワコムでは定期的にタブレットドライバの更新を行い、新製品との互換性を維持しています。[ドライバのダウンロード](#)をご覧ください。
5. 本書で解決のポイントを読んでも、問題が解決しそうにない場合、ワコムのサポート窓口にお問い合わせください。サポート情報については、[テクニカルサポート](#)と「Read Me」ファイルをご覧ください。

[本機のテスト](#)

[電子ペンのテスト](#)

[ディスプレイのトラブルシューティング情報](#)

[タブレットのトラブルシューティング情報](#)

[テクニカルサポート](#)

[ドライバのダウンロード](#)





本機のテスト

1. 本機のパワーランプが点灯しない場合は、以下をご確認ください。

- AC アダプタのランプが点灯していることをご確認ください。点灯していない場合は、電源ケーブルが AC アダプタとコンセントに正しく接続されているかご確認ください。
- AC アダプタのケーブルが本機に正しく接続され、電源スイッチがオンになっていることをご確認ください。電源がオンになっているときは、パワーランプがオレンジ色または青色に点灯します。

重要： 必ず本機に付属の AC アダプタをご使用ください。付属品以外をご使用になると、本機が破損する場合があります。

2. 画面に何も表示されない場合は、以下を確認してください。

- コンピュータの電源が入っているかをご確認ください。正しいビデオ信号が入力されると、パワーランプは青色に点灯します。ビデオ信号の入力がない、またはコンピュータが省電力状態の場合には、パワーランプはオレンジ色に点灯します。
- 本機が有効な DVI またはアナログ RGB コネクタに接続され、DVI/VGA スイッチが接続に合わせた設定になっていることをご確認ください。
- お使いのグラフィックボードが正しくセットされ動作していることをご確認ください。お使いのグラフィックボードと互換性がある別のディスプレイをお持ちなら、そのディスプレイをグラフィックボードに接続して正しく動作することを確認できます。

3. 本機の画面上で電子ペンが正常に使えることを確認してください。

- ペン先を画面に押し当て、ステータスランプが青色に点灯することをご確認ください。
- ステータスランプが点灯しない場合は、USB 接続ケーブルが有効な USB ポートに接続されているかご確認ください。
- 接続中の USB ポートが有効であることをご確認ください。USB ポートが有効かどうかを確認するときはご使用のシステムの BIOS 設定の確認を行ってください。
- 本機が USB デバイスとして登録されているときは、ペン先をディスプレイに押し当てるとランプは青色に点灯します。

4. 画面上で電子ペンを操作できないときは、以下のテストを行ってください。

- ペン先またはテールスイッチを画面に押し当てて、ステータスランプが青色に点灯することを確認してください。
- 筆圧を加えずに電子ペンを画面から 5 mm 以内に近づけサイドスイッチを押して、ステータスランプが青色に点灯することを確認してください。
- 以上のテストでステータスランプが青色に点灯しない場合は、本機に対応していないペンを使っていないかご確認ください。
- 詳細は、[電子ペンのテスト](#)を参照してください。

症状が回復しない場合、電子ペンまたは本機の故障が考えられます。





電子ペンのテスト

電子ペンが思う通りに動作しない場合は、サイドスイッチに割り当てた機能を確認する、または電子ペンの設定をリセットすることをお勧めします。電子ペンの設定を簡単にリセットするときは、「入力デバイス」リストの「-」ボタンをクリックして、リストから「ペン」を削除します。続いて電子ペンのペン先を本機の画面に近づけると、「ペン」が標準設定で「入力デバイス」リストに追加されます。

コントロールパネルを開き、「タブレットについて」ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されたら、「診断」ボタンをクリックして「診断」ダイアログボックスを開きます。「診断」ダイアログボックスには本機に関する情報が表示されます。この情報を利用して本機とご使用中の電子ペンをテストします。

システムに複数のタブレットが接続されている場合は、必ず「タブレット情報」欄でテスト中のタブレットを選択してください。

補足： サイドスイッチをテストする場合、サイドスイッチに「ラジアルメニュー」または「開く / 起動」が割り当てられていると、サイドスイッチを押すとその機能が実行されます。このような場合、テストの前にサイドスイッチの機能を変更してください。

1. 「診断」ダイアログボックスの「入力デバイス情報」欄を見ながら、ペン先を画面から 5 mm 以内に近づけます。「読み取り高さ」、「入力デバイス名」、「入力デバイスのタイプ」が表示されます。
2. 本機の操作エリアで電子ペンを移動させると、X 座標と Y 座標のデータの値が、ペン先の位置を反映して変化します。
3. 電子ペンの機能をテストします。ペン先でクリックしたり、サイドスイッチを押したり、あるいはテールスイッチ（消しゴム）をタブレットの上で押すと、本機のステータスランプが青色に点灯します。
 - 画面をペン先でクリックします。「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変化します（筆圧は圧力が全くかかっていない状態から最大圧力をかけた状態まで、0% から 100%まで変化します）。
 - タブレットにペン先を押し当てずにサイドスイッチを押します。「スイッチ」の状態が変わります。電子ペンの両方のサイドスイッチに対して行ってください。

ペン先 = 1、サイドスイッチ（下側） = 2、サイドスイッチ（上側） = 3、テールスイッチ（消しゴム） = 1
 - 画面にテールスイッチを押し当てます。「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変わります（筆圧は 0% から 100%まで変化します）。
4. 終了したら、「閉じる」ボタンを押してダイアログボックスを終了します。





ディスプレイのトラブルシューティング情報

本機の液晶表示部で問題が発生した場合は、以下の表を参考に解決を試みてください。カラーの問題については、ご使用のオペレーティングシステムまたはソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

[ディスプレイの一般の問題](#)

[アナログ RGB 接続の問題](#)

ディスプレイの一般の問題

画像が表示されない。パワーランプが点灯しない。	電源ケーブルが正しく接続されているか、本機の電源スイッチがオンになっているかをご確認ください。
画像が表示されない。パワーランプは青色で点灯する。	コンピュータ、および本機の電源を切り、ケーブルやアダプタが折れ曲がっていたり、コネクタピンが破損していないかをご確認ください。次にケーブルやアダプタを正しく接続して、本機とコンピュータの電源を入れてください。
パワーランプがオレンジ色に点灯し、「no input signal go to power saving mode」というメッセージが画面に表示される。	<ul style="list-style-type: none"> お使いのコンピュータが省電力状態になっている可能性があります。マウスを動かしたり、キーボードのキーをどれか押してください。 コンピュータ、および本機の電源を切り、DVI-DVI (または DVI-RGB) ケーブルが折れ曲がっていたり、コネクタピンが破損していないかをご確認ください。次にディスプレイケーブルを正しく接続して、本機とコンピュータの電源を入れてください。 DVI/VGA スイッチが正しく設定されているかをご確認ください。スイッチを正しく設定してコンピュータを再起動してください。 グラフィックボードが正しく装着されているかをご確認ください。
「out of range」というメッセージがディスプレイ画面に表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 入力信号周波数の設定が正しくないか、本機と適合していません。本機のリフレッシュレートを 60 Hz に設定してください。シングルディスプレイ環境の場合、リフレッシュレートを変更するためには、別のディスプレイを接続する必要があります。 解像度あるいはリフレッシュレートの設定が本機の対応範囲を超えています。 「プラグアンドプレイモニタ」を検出するように、画面のプロパティを設定します。





画像が二重、三重に表示される。	ディスプレイケーブルを延長したり、入力切替器や映像分配器を使用しないでください。
同じ画像が長時間表示された後、残像が短時間続く。	残像は時間がたつと徐々にもとにもどります。スクリーンセーバーまたはコンピュータの省電力機能を使用します。
色の具合がおかしい。	<ul style="list-style-type: none">OSDメニューを開き、「カラー設定」から色温度を変更してみてください。ディスプレイケーブルがしっかり接続されていることをご確認ください。コンピュータおよび本機の電源を切り、ディスプレイケーブルが折れ曲がったり、コネクタピンが破損していないかご確認ください。OSDメニューを開き、「リセット」から「初期設定に戻す」を選択します。カラープロファイルをインストールしている場合、ご使用中のオペレーティングシステムとソフトウェア用のカラープロファイルとして選択されていることを確認してください。(お使いのモデルによっては、カラープロファイルを含んでおりません。)コントラストの設定変更は色の精度に影響するため、少しずつ行ってください。
白色がきれいに表示されない。	<ul style="list-style-type: none">カラープロファイルをインストールしている場合、ご使用中のオペレーティングシステムとソフトウェア用のカラープロファイルとして選択されていることを確認してください。(お使いのモデルによっては、カラープロファイルを含んでおりません。)画面の設定がお買い上げ時の状態か確認し、設定が不十分な場合は色の設定を調整してください。カラーマネジメントの詳細は、ご使用中のオペレーティングシステムとソフトウェアの取扱説明書を参照してください。ディスプレイケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。





アナログ RGB 接続の問題

画面に波のような模様やちらつきが出る。

- OSDメニューを開き、「画像設定」から「オートアジャスト」オプションを選択します。必要に応じてピッチとフェーズを手動調整してください。
- コンピュータのディスプレイアダプタまたはグラフィックボードが本機の仕様に合っているかを確認してください。
- 画面のプロパティのコントロールパネルでリフレッシュレートを調整してください。

表示が不鮮明。
画面上のテキストや他の部分がぼやけている。

- コンピュータの解像度を本機で利用可能な解像度に設定します。詳細は、[製品仕様](#)を参照してください。
- いったん本機の電源をオフにし、再度オンにします。
- OSDメニューを開き、「画像設定」から「オートアジャスト」オプションを選択します。必要に応じて明るさ、ピッチ、およびフェーズを手動調整します。

画面の表示位置がずれている。表示サイズが適正でない。

- OSDメニューを開き、「画像設定」から「オートアジャスト」オプションを選択します。
- 必要に応じて、ピッチとフェーズ、および水平位置と垂直位置を調整します。入力信号やグラフィックボードによっては、適正なサイズで表示されない場合がありますのでご注意ください。

画面に波、縦縞、色むらが出る。

- OSDメニューを開き、「画像設定」から「オートアジャスト」オプションを選択します。問題が解決しない場合は、「リセット」から「初期設定に戻す」オプションを選択し、画面の設定を工場出荷時の状態に戻します。
- 必要に応じて、ピッチとフェーズを調整します。

表示が二重、三重になる。

- ディスプレイケーブルが、確実にコネクタに接続されているか確認してください。
- ディスプレイケーブルを延長したり、入力切替器や映像分配器を使用しないでください。

画面が暗い。

- OSDメニューを開き、明るさとバックライト輝度を調整します。





タブレットのトラブルシューティング情報

本機のタブレット部で問題が発生した場合は、以下の表を参照し解決を試みてください。必ず「Read Me」(お読みください) ファイルをご覧ください、最新情報をご確認ください。

より詳細な情報については、ワコムのホームページにアクセスしてください。http://tablet.wacom.co.jp/support/

一般的な問題

本機の USB ポートに接続した USB デバイスが機能しない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. タブレットの USB 接続ケーブルがコンピュータの有効な USB ポートに正しく接続されているか確認してください。 2. 本機の電源がオンで、パワーランプが青く点灯していることを確認してください。本機の USB ポートは、電源が切れていると機能しません。 3. コンピュータの USB ポートに USB デバイスを直接接続してみてください。 4. 以上の操作を行っても USB デバイスが正常に機能しない場合は、各 USB デバイスのメーカーにお問い合わせください。
パワーランプが点灯しない。	<p>本機の電源がオンになっていることを確認してください。</p> <p>AC アダプタが本機とコンセントの両方に正しく接続されていることを確認してください。</p> <p>必ず本機に付属の AC アダプタをご使用ください。付属品以外の AC アダプタを使用すると本機が故障するおそれがあるので、使用しないでください。</p>
電子ペンがマウスモードでのみ動作する。筆圧機能を使って線が描けない。	<p>タブレットドライバがインストールされていないか、または適切に読み込まれていません。</p> <p>タブレットドライバがインストールされていることを確認してください。</p> <p>タブレットドライバがインストールされていない場合は、本書の本機のセットアップを参考にタブレットドライバをインストールしてください。</p>
筆圧機能が使えない。	<p>ソフトウェアによっては、電子ペンを使う前に筆圧機能をオンにする必要があるものもあります。</p> <p>お使いのソフトウェアが筆圧に対応しているか確認してください。</p>
クリックが利かない。	<p>コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。</p> <p>「ペン先の感触」を柔らかくしてください。ペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください。</p>
電子ペンがあらゆるものを選択して、止まらない。	<p>コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。</p> <p>「ペン先の感触」スライダを「硬い」方へ移動させるか、「詳細設定」を選択し、「クリック圧」の設定を大きくします。</p> <p>電子ペンの芯の抜き差しをしてください。正常に戻らない場合は、電子ペンのテストを参照してください。</p>
ダブルクリックが利かない。	<p>画面の操作エリア内の同じ場所をすばやく 2 度軽くたたいてみてください。ワコムではサイドスイッチを使ってダブルクリックすることをお勧めしていません。</p> <p>コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。「ダブルクリック距離」を長くするか、「ペン先の感触」を柔らかく設定してください。ペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください。</p> <p>Windows の場合：1 回のクリックでプログラムが起動するように設定することができます。クリックを参照してください。</p>





消しゴムがあらゆるものを選択する。消し続ける。

コントロールパネルを開き、「テールスイッチ」タブを選択します。「消しゴムの感触」スライダを「硬い」方へ移動させるか、「詳細設定」ボタンを選択し、「クリック圧」の設定を大きくします。[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)を参照してください。正常に戻らない場合は、[電子ペンのテスト](#)を参照してください。

ペンのストロークまたはインクのストロークの開始が遅れる。

コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。「ダブルクリック距離」を少なくしてください。正常に戻らない場合は、「ダブルクリック距離」スライダを「OFF」にドラッグして、ダブルクリックアシストをオフにします。[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)を参照してください。

ペン先を強く押さなければ、クリックや書き込みができない。

コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」スライダを「柔らかい」方へ移動させるか、「詳細設定」を選択して「筆圧感度」と「クリック圧」設定を少なくします。[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)を参照してください。

ペン先が利かない。

必ず本機に付属の電子ペンをお使いください。付属品以外の電子ペンは本機で正しく機能しない場合がありますので、使用しないでください。

コントロールパネルの「ペン」タブで、「クリック」機能がペン先に割り当てられていることを確認してください。

ペン先を押したとき、ステータスランプが青色に点灯することを確認してください。青色に点灯しない場合、USB接続ケーブルがコンピュータの有効なUSBポートに正しく接続されているか確認してください。

以上を行ってもランプが点灯しない場合は、電子ペンまたは本機の故障が考えられます。[トラブルシューティング](#)を参照してください。

ペン先とポインタがずれる。

コントロールパネルを開き、「調整開始...」を選択します。[ペン先の位置調整](#)を参照してください。

電子ペンの機能設定を変更しても反映されない。

使用中の電子ペンとソフトウェアに対して設定変更を行っているか確認してください。[特定のソフトウェアに対する設定](#)を参照してください。

電子ペンのサイドスイッチが利かない。

必ず本機に付属の電子ペンをお使いください。付属品以外の電子ペンは、本機では正常に動作しない場合がありますので、使用しないでください。

ペン先が画面の操作エリアから 5 mm 以内にあるときにサイドスイッチを押してください。ペン先で画面を押さずに行います。

コントロールパネルで、サイドスイッチが使用中のソフトウェアと電子ペンで実行する機能に設定されていることを確認してください。

「サイドスイッチエキスパートモード」も確認してください。「ペン先とともにクリック」が選択されている場合は、クリック操作を行うためには、サイドスイッチを押しながらペン先を画面にタッチさせる必要があります。

サイドスイッチを押すと、ステータスランプが青色に点灯することを確認してください。

点灯しない場合、USB接続ケーブルがコンピュータの有効なUSBポートに正しく接続されているか確認してください。

以上を行ってもランプが点灯しない場合は、電子ペンまたは本機の故障が考えられます。[トラブルシューティング](#)を参照してください。





ポインタは動かせるが、ペン先を画面に置いてペン先の位置にジャンプせず、ペン先の動きに連動しない。

コントロールパネルを開きタブレットドライバが正しくインストールされているか確認します。インストールされていない場合は、エラーメッセージが表示されます。その場合は、コンピュータを再起動し[本機のセットアップ](#)説明を参考にタブレットドライバを再インストールしてください。(Macintoshの場合は、タブレットドライバをインストールした後、コンピュータを再起動してください。)

電子ペンのサイドスイッチでペンモードとマウスモードの切り替えを行うよう設定している場合は、本機がペンモードで作動しているか確認してください。

マルチディスプレイ環境で本機を使用している場合に、電子ペンで他の複数のディスプレイを操作できない。

コントロールパネルを開き、電子ペンのサイドスイッチにマッピング画面切り替えを設定してください。その設定をしたサイドスイッチを押すことによって、操作できるディスプレイを切り換えることができます。

マウスモードで電子ペンを使って、他のディスプレイを操作することもできます。マウスモードにするには、サイドスイッチにペンモードとマウスモードの切り替えを行うよう設定し、スイッチを押してペンモードとマウスモードを切り替えてください。

描いた線とポインタの位置が合わない。

電子ペンがペンモードに設定されていないと正しく機能しません。電子ペンがマウスモードに設定されていないことを確認してください。

ペンモードに設定されても問題が解決しないときは、環境設定ファイルが壊れている可能性があります。Windows または Macintosh のトラブルシューティング指示に従って、新しい環境設定ファイルを作成してください。([Windows での問題](#)、 [Macintosh での問題](#) を参照してください。)

コンピュータが省電力状態にならない。

電子ペンを使用していないときは、本機の画面上に電子ペンを置いたままにしないでください。置いたままにすると本機はデータを送り続け、コンピュータは作動状態であり続けます。

マウスまたはトラックボールの使用、ポインタが急に引き戻される。

電子ペンを使用していないときは、本機の画面上ではなく、本機のペンホルダーに収納するか、専用のペンスタンドに立てるか、あるいは本機から下ろして本機の近くに置いてください。

電子ペンを画面上に置いたままにすると、他の入力デバイスを使用するとき、ポインタの位置決めができなくなることがあります。

コンピュータに別のタブレットが接続されているとき、ポインタが不規則に動いたり、画面上で跳び回ったりする。

別のタブレットを本機に近づけすぎると、ポインタの位置決めができなくなることがあります。この現象が起こったら、本機と別のタブレットを離してください。





Windows での問題

タブレットの設定ファイルが壊れている。または、設定ファイルを標準設定の状態にもどしたい。

「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を使用して、ご使用中の設定を削除します。起動中のソフトウェアをすべて閉じます。「スタート」メニューをクリックし「すべてのプログラム」を選択します。次に、「ワコムタブレット」から「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択します。

- 最初にタブレット設定のバックアップコピーを取ることをお勧めします。「タブレット設定ファイルユーティリティ」ダイアログボックスで、「バックアップ...」をクリックし、メッセージに従って操作します。

- 以下の手順でタブレットの設定を削除します。

シングルユーザの場合：「タブレット設定ファイルユーティリティ」ダイアログボックスで、「ログインユーザーの設定ファイル」の「削除」をクリックして、現在のユーザの設定を削除します。

マルチユーザの場合：「全てのユーザーの設定ファイル」の「削除」をクリックしてマルチユーザの設定を削除します。すべてのユーザの設定を削除するには、管理者権限が必要です。

「ログインユーザーの設定ファイル」の「復元...」をクリックして、バックアップしたタブレット設定を復元できます。

コンピュータのマウスコントロールパネルで右利き用と左利き用の設定を変更した後、ペン先が正しく機能しなくなった。

入力デバイスの設定を正しく認識させるために、Windows を再起動します。





Macintosh での問題

コンピュータの起動時、タブレットドライバがロードできなかった、またはタブレットの設定がまだ作成されていないという内容のダイアログボックスが表示される。

起動時に、本機が認識されませんでした。USB 接続ケーブルが、コンピュータの有効な USB ポートに正しく接続されていることを確認してください。また本機のパワーランプが点灯していることを確認してください。問題が解決しない場合は、[トラブルシューティング](#)をご覧ください。

「移動」メニューから、「ユーティリティ」フォルダを選択し、「システムプロファイル」を起動します。「内容」一覧の「ハードウェア」から USB を選択します。ワコム USB タブレットが一覧表示されます。表示されない場合、本機の USB 接続を確認するか、本機を別の USB ポートに接続してみてください。

問題が解決されない場合は、ワコムサポートセンターにご連絡ください。[テクニカルサポート](#)を参照してください。

タブレットの設定ファイルが壊れている。または、設定ファイルを標準設定の状態にもどしたい。

「ワコムタブレットユーティリティ」からご使用中の環境設定を削除します。起動中のソフトウェアをすべて閉じ、「アプリケーション」フォルダを開きます。次に、「ワコムタブレット」フォルダを開き、「ワコムタブレットユーティリティ」を実行します。

- 最初にタブレット設定のバックアップコピーを取ることをお勧めします。「ワコムタブレットユーティリティ」では、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」を選択します。次に、「バックアップ ...」をクリックし、メッセージに従って操作します。
- 以下の手順でタブレット設定を削除します。

シングルユーザの場合：ユーティリティが起動したら「ログインユーザー」を選択し、「削除」をクリックします。続いてログアウトし、再度ログインします。タブレットドライバがロードされると、インストール直後の標準設定で新しい設定ファイルが作成されます。

マルチユーザの場合：ユーティリティが起動したら「全てのユーザー」を選択し、「削除」をクリックします。続いてログアウトし、再度ログインします。タブレットドライバがロードされると、インストール直後の標準設定で新しい設定ファイルが作成されます。

ユーティリティ内の「復元 ...」をクリックして、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」に対してバックアップしたタブレット設定を復元できます。

補足：「Wacom Tablet.Prefpane」ファイルを「ライブラリ」の「Preferencepanes」フォルダから削除しないでください。このファイルは、タブレットドライバをアンインストールする場合、また「ワコムタブレットユーティリティ」を使用する場合にのみ削除します。

再度、ポインタの位置調整をします。





Ink が、本機で正しく動作しない。 Ink の設定ファイルに問題がある可能性があります。次のようにして、問題のある設定ファイルを削除します。手書き入力認識を有効にすると、設定ファイルは再作成されます。

1. 「システム環境設定」画面を開き、「すべてを表示」を選び、「Ink」を選択します。次に「手書き認識」を「切」にします。
2. 「移動」メニューから、「ホーム」を選択します。「ライブラリ」を開いて、「Preferences」フォルダを開きます。次の設定ファイルを削除します。
 - com.apple.ink.framework.plist
 - com.apple.ink.inkpad.plist
 - com.apple.ink.inkpad.sketch
3. 再度、「システム環境設定」→「Ink」を選択します。「手書き認識」を「入」にします。
4. 本機と電子ペンを使って、Ink 機能をテストします。

この処理で Ink の問題が解決されず、サポートが必要な場合は、アップルコンピュータに連絡してください。Ink 用のソフトウェアに関して、弊社では一切のサポートを行っておりません。





テクニカルサポート

本機に問題がある場合は、初めに本書の[本機のセットアップ](#)をご覧ください、本機が正しくセットアップされていることを確認してください。次に[トラブルシューティング](#)をご覧ください。

本書で解決策が見つからない場合、本機の「Read Me」（お読みください）ファイル（タブレットドライバ CD にあります）にお客さまの問題に関する最新情報が記載されている場合があります。ワコムのホームページの製品 FAQ（よくあるご質問と回答）もチェックしてください。http://tablet.wacom.co.jp/support/faq/

インターネットに接続されている場合は、ワコムのホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードできます。[ドライバのダウンロード](#)を参照してください。

問題が解決されず、本機が正しく動作していないと思われる場合、ワコムサポートセンターにご連絡ください。連絡先については、[Wacom international offices](#) を参照してください。

お電話によるサポートを受けられる場合、次の情報をご用意の上、コンピュータの近くからお電話ください。

- 本書
- 本機の機種名とシリアル番号（タブレット本体の背面をご覧ください）
- タブレットドライバのバージョン（タブレットドライバ CD をご覧ください。あるいはコントロールパネルの「タブレットについて」をクリックしてください。）
- コンピュータの製造元と型式、およびオペレーティングシステムのバージョン
- お使いのグラフィックボードの製造元と型式、および接続のタイプ
- コンピュータに接続された周辺機器のリスト
- 問題が発生したとき、使用していたソフトウェアとバージョン
- 画面に表示された正確なエラーメッセージ
- 問題が発生したとき、具体的に何が起こったか、起こったことをどのように処置したか
- どのように問題を解決しようとしたか





ドライバのダウンロード

ワコムは新しい製品との互換性を維持するために、定期的にタブレットドライバを更新します。機能を最適に使用するためにドライバを定期的に更新することをお勧めします。新しいタブレットドライバ（利用可能な場合）は、ワコムのホームページからダウンロードできます。

ワコムのタブレットドライバダウンロードページ：<http://tablet.wacom.co.jp/download>





付録

この章では本機のお手入れのしかた、タブレットドライバのアンインストール方法、ライセンスと保証などについて説明します。

[本機のお手入れ](#)

[ペン先を交換する](#)

[マウントアームに取り付けて使う](#)

[タブレットドライバのアンインストール](#)

[タブレット設定ファイルの管理](#)

[複数タブレットの設置](#)

[Windows でのペンおよびデジタルインク機能](#)

[Windows Tablet PC 入力パネルについて](#)

[製品仕様](#)

[安全上のご注意](#)

本機のお手入れ

液晶画面と電子ペンは清潔にお使いください。ちりや砂ぼこりは、画面の表面を傷つけます。定期的に清掃していただくことで、液晶画面と電子ペンを長い期間ご利用いただくことができます。

本機と電子ペンは清潔に、涼しい場所で、極端な温度変化を避けて保管してください。

室温が最適です。

本機と電子ペンは分解可能な製品ではありません。製品を分解すると、保証が無効になります。

重要： 本機や電子ペンに液体をこぼさないように注意してください。液晶画面やサイドスイッチ、ペン先には、液体が入ると故障するデリケートな電子部品が入っています。これらを濡らさないように、特に注意してください。

タブレット本体や電子ペンの清掃をするときは、柔らかい湿らせた布で拭いてください。水で薄めた刺激の少ないせっけんで布を湿らせて使うこともできます。アルコール、シンナー、あるいはベンゼンのような揮発性の液体は、本体を傷めますので使用しないでください。(ただし、付属の電子ペンはアルコールに耐性のある樹脂を使用しています。)

液晶画面の清掃には帯電防止布または軽く湿らせた布をご使用ください。液晶画面を軽く押す程度にし、表面を濡らさないようにしてください。液晶画面が故障するおそれがありますので、洗剤は使用しないでください。このような故障はメーカーの保証の対象外となりますのでご注意ください。



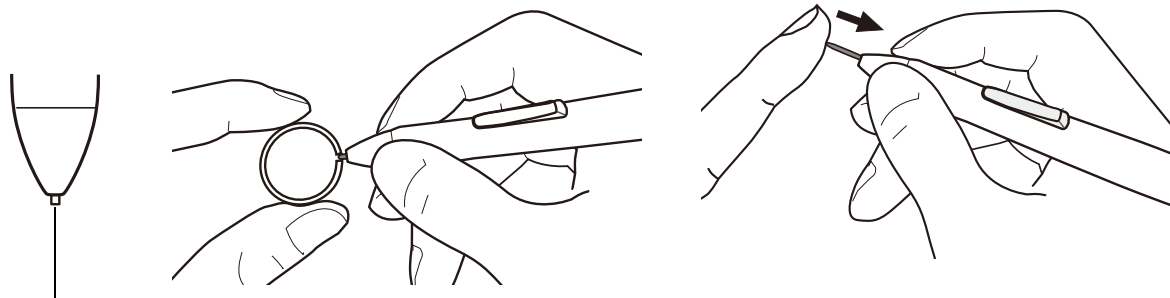


ペン先を交換する

ペン芯は、使っていく間に磨り減っていきます。過度な力を加えると、より早く磨耗します。本機の表面は、磨耗したペン先で傷つく恐れがありますので、ペン先が短くなりすぎたり、先端が鋭くなってきたら、付属の交換用の芯と交換してください。

古いペン先を付属の芯抜き、ピンセットなどで芯を挟んで、ペンからまっすぐに引き抜きます。

新しいペン芯を電子ペンにまっすぐにはめ込みます。止まるまでしっかりと押し込んでください。



1 mm 以下になったら、ペン先を交換します。

⚠ 警告

お子様が替え芯やサイドスイッチを飲み込まないようにしてください。電子ペンを口の中に入れると、ペン先やサイドスイッチが抜け落ちてしまう可能性があります。

重要： 電子ペンを使用していないときは、本機のペンホルダーに収納するか、専用のペンスタンドに立てるか、または机の上に横にして置いてください。ペンホルダーへのペンの挿入、または取り外しの際は、ペン先を傷つけないように注意してください。

ペン先の感度を維持するため、市販のペンスタンドなどペン先が押された状態になる容器には入れないでください。





マウントアームに取り付けて使う

本機をマウントアームに取り付けて使いたいときは、本体からスタンドを取り外し、市販の VESA (Video Electronics Standard Association) 規格のマウントアームに取り付けて使います。

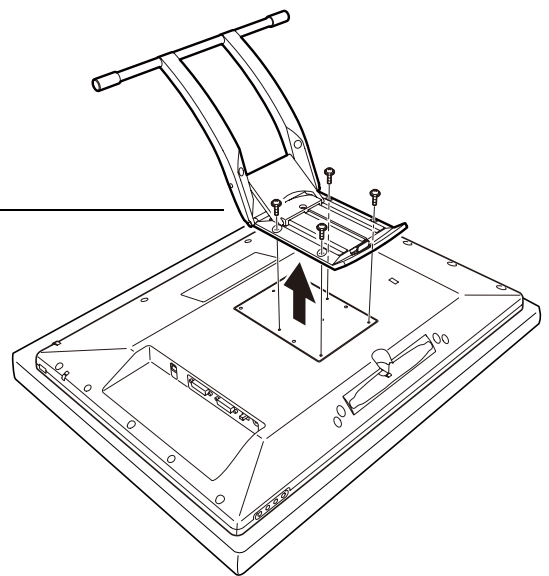
必ず規格に準拠したマウントアームをお使いください。

幅 4 mm、ピッチ 0.7 mm (M4 レギュラー)、脚部 15 mm のネジを別途ご用意ください。脚部の長さが 15 mm を超えると、本体に取り付けたときに内部の部品を傷つけ故障の原因となることがありますので、必ず確認の上お使いください。

DTU-2231 では、本機裏面の取り付け用ネジ穴は、100 mm ピッチです。DTU-1631C/DTU-1631E では、75 mm ピッチです。

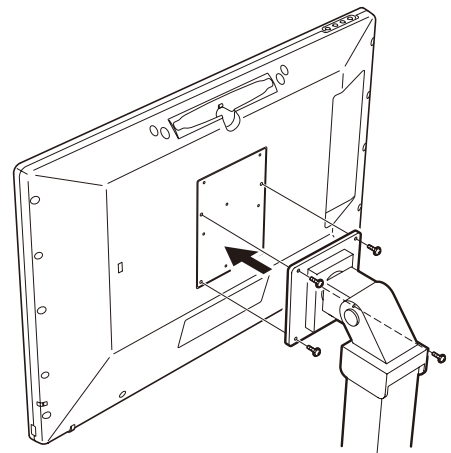
本機をスタンドから取り外し、マウントアームに取り付けます。

1. コンピュータおよび本機の電源をオフにし、すべてのケーブルを本機とコンピュータから取り外します。
2. 液晶画面を保護するため、平らな台に柔らかい布を敷き、画面を下にして本機を置きます。
3. 4本のネジを取り外し、スタンドを持ち上げて装置本体から取り外します。
4. マウントアーム取り付け用のネジで、本機をマウントアームにしっかりと取り付けます。
5. [本機のセットアップ](#)を参照し、再度ケーブルを取り付けます。



⚠ 注意

本機をマウントアームに取り付ける場合は、必ずマウントアームに付属の取扱説明書の指示に従ってください。誤った取り付けかたをされると、本機が倒れて破損やけがの原因となることがあります。取り外したスタンドやネジは、なくさないように保管してください。





タブレットドライバのアンインストール

以下の手順に従って本機とタブレットドライバをシステムから削除することができます。

Windows の場合：

1. Windows の「スタート」ボタンをクリックして「コントロールパネル」を開きます。
2. 「コントロールパネル」から
 - Windows 7 または Vista の場合：「プログラムのアンインストール」をクリックし、ダイアログボックスで「ワコムタブレット」を選択し、「アンインストール」をクリックします。
 - Windows XP の場合：「プログラムの追加と削除」を選択します。「プログラムの追加と削除」ウインドウで「ワコムタブレット」を選択し、「削除」をクリックします。
3. 画面の指示に従って、タブレットドライバを削除します。
4. タブレットドライバが削除されたらシステムを終了し、コンピュータと本機の電源を切ります。

Macintosh の場合：

1. 「移動」メニューから、「アプリケーション」を選択し、「ワコムタブレット」フォルダを開きます。
2. 「ワコムタブレットユーティリティ」アイコンをダブルクリックし、「タブレットドライバ：削除」を選択して、管理者のユーザ名とパスワードを入力します。
3. 削除が完了したら、「OK」をクリックします。
4. システムを終了し、コンピュータと本機の電源を切ります。





タブレット設定ファイルの管理

ワコムタブレット設定ファイルユーティリティを使用すると、シングルユーザまたはマルチユーザのタブレット設定ファイルの管理が行えます。

Windows の場合は、起動中のソフトウェアをすべて終了させてください。次に、「スタート」アイコンをクリックし、「すべてのプログラム」を選択します。「ワコムタブレット」→「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択します。

- ログインユーザの設定ファイルを削除するには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「削除」ボタンをクリックします。
- マルチユーザの設定ファイルを削除するには、「全てのユーザーの設定ファイル」から「削除」ボタンをクリックします。すべてのユーザの設定ファイルを削除するには、管理者権限が必要です。最後に現在開いているタブレット用ソフトウェアを再起動してください。
- 現在の設定ファイルをバックアップするには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「バックアップ ...」をクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「復元...」をクリックします。

表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください。

Macintosh の場合は、最初に「アプリケーション」フォルダを開きます。次に「ワコムタブレット」フォルダを開いて、「ワコムタブレットユーティリティ」を実行します。

- 設定ファイルを削除するには、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」のいずれかを選択してから、「削除」ボタンをクリックします。ログアウトしてから再度ログインします。タブレットドライバが読み込まれると、新しい設定ファイルが標準設定で作成されます。
- 設定ファイルをバックアップするには、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」のいずれかを選択してから、「バックアップ ...」ボタンをクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」のいずれかを選択してから、「復元 ...」ボタンをクリックします。

表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください。



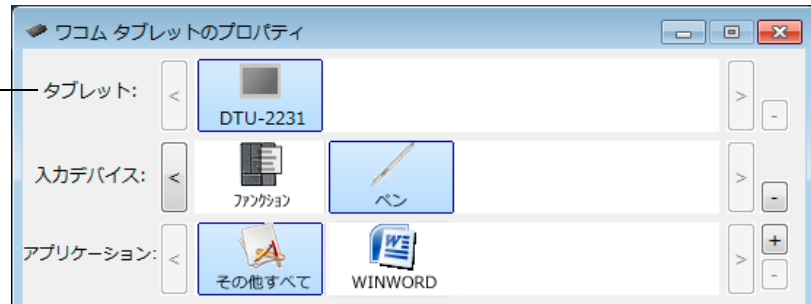


複数タブレットの設置

「タブレット」リストには、システムで検出された、サポートされているタブレットのアイコンが表示されます。設定を変更するタブレットをここから選択します。

電子ペンとソフトウェアの設定をカスタマイズするタブレットのアイコンを選択します。

- コントロールパネルは、サポートしているタブレットがコンピュータに接続されていないときは起動しません。



新しいタブレットを追加する場合は、タブレットをコンピュータに接続します。システムは USB ポートに接続されたタブレットを検索します。新しいタブレットが検出されると、自動的に初期化されます。

重要： 複数のタブレットを Windows システムに追加する場合、ソフトウェアによっては追加されたタブレットで消しゴム機能が使えない場合があります。最初にコントロールパネルに設置されたタブレットでは使うことができます。

ドライバから複数あるタブレットのうちの1つを削除するには、コントロールパネルで、削除するタブレットのアイコンを選択し、「タブレット」リストの隣の [-] ボタンをクリックします。

- サポートされているタブレットがコンピュータに接続されていないときは、「タブレット」リストから削除することはできません。
- タブレットをドライバに再度追加する前に、コンピュータを再起動する必要があります。ご注意ください。

重要： 他のタブレットを本機のすぐ近くに置くと、影響を受けて誤動作することがあります。このような場合は、離してお使いください。





Windows でのペンおよびデジタルインク機能

Microsoft Windows 7 および Windows Vista では、ペン入力に対応しています。Windows 7 (Starter を除く) および Windows Vista (Home Basic を除く) が稼働するコンピュータと本機を組み合わせることでペン入力機能を最大限に活用することができます。さらに Windows 7 および Windows Vista、Office 2007、そして本機を組み合わせることで、効果的な書類作成やプレゼンテーション、コミュニケーションを可能にします。

- **手書きメモ帳機能** Windows 7 および Windows Vista の「Windows Journal」をタブレットで操作すれば、手書きメモや図形をファイルに直接書き込むことができます。ペン、マーカー、ハイライトツール、消しゴムなど便利なデジタル機能を備え、Windows Journal の強力な検索エンジンでは手書きの内容も検索することができます。もちろん筆圧機能もサポートしています。
- **手書き文字認識機能** Windows 7 および Windows Vista の「手書き文字認識機能」は、タブレットで書いた手書き文字を、素早くテキストに変換する機能です。クセ字を学習する高性能な手書き認識エンジンも搭載され、書いた文字を正確に認識します。Tablet PC 入力パネルの使い方については、[Windows Tablet PC 入力パネルについて](#)をご覧ください。
- **ジェスチャー機能** タブレット上でペンを動かすだけで、コンピュータ操作を可能にする「ペンフリック」機能を備えています。上下左右斜めの 8 方向へのペンの動きにショートカットなどを設定でき、キーボードを使わずに簡単操作ができます。カスタマイズするときは、「ペンと入力デバイス」コントロールパネルの「フリック」タブを選びます。素早く利用できるように、各ソフトウェアのクイックアクセスツールバーに特定のインクツールを追加することができます。
- **Office 2007 デジタルインク機能** 「2007 Microsoft Office system」またはそれ以降のバージョン (OS : Windows 7/Vista) での各ソフトウェア (Word・Excel・PowerPoint・Outlook) では、ペンタブレットを接続することで、ペンによる手書き文字や図形などを自在に書き込めるデジタルインク機能が使用できます。ファイル上での手書き校正などが可能になります。

Windows Vista でペンを使いこなしていただくために、「Windows トレーニングツール」や「Tablet PC チュートリアル」など付属の資料をお読みください。「スタート」メニューから、「すべてのプログラム」→「Tablet PC」→「Tablet PC ペントレーニング」と選択すると、Tablet PC ペントレーニングが起動します。

補足： ワコムタブレットドライバでは、Windows 7 および Windows Vista での描画性能改善のために、下記の改善策をとっています。

- ペンフリックおよび「プレスアンドホールド」機能は、Wintab API を使うグラフィックソフトでは無効になります。
- Windows 7 の「ペンとタッチ」、Windows Vista の「ペンと入力デバイス」コントロールパネルで、ペンフリックおよび「プレスアンドホールド」の両方の機能を無効にして、Windows Journal や他のインク機能で描画する場合、筆圧が無効になります。

* デジタルインク機能は、Windows 7 Starter 以外の Windows 7 の全エディション、Windows Vista Home Basic 以外の Windows Vista の全エディションでサポートされています。





Windows Tablet PC 入力パネルについて

Windows 7 または Vista の入力パネルでは、電子ペンを使って手書きするか、画面上のキーボードでテキストを直接入力するかを設定できます。以下のいずれかの方法で入力パネルを起動できます。

- 画面のポインタがテキスト操作エリアに移動すると表示される入力パネルのアイコンをクリックします。
- 標準設定で表示画面の左端に配置されている入力パネルのタブをクリックします。
- Windows のタスクバーに配置されている「Tablet PC 入力パネル」アイコンをクリックします。アイコンが見えない場合は、タスクバーを右クリックして、「ツールバー」、「Tablet PC 入力パネル」を選択します。

入力パネルのカスタマイズは以下の手順で行います。

1. 初めに、入力パネルを開いて、メニューバーの「ツール」をクリックします。
2. 「オプション」を選択して、「入力パネルオプション」ダイアログボックスを開きます。
3. 作業しやすいように、入力パネルの設定をカスタマイズします。

Microsoft Windows および Office 2007 については、システムおよび Microsoft Office に付属の資料をご覧ください。Windows での活用方法については、ワコムのホームページ www.wacom.co.jp/windows/index.html もご覧ください。





製品仕様

[モデル DTU-2231 液晶ペンタブレット](#)

[モデル DTU-1631 液晶ペンタブレット](#)

[電子ペン](#)

モデル DTU-2231 液晶ペンタブレット

[一般仕様](#)

[ディスプレイ](#)

[タブレット](#)

[ACアダプタ](#)

一般仕様 **DTU-2231**

外形寸法 (W × D × H)	564.0 × 374.0 × 55.5 mm (スタンドを除く)
質量	7.4 kg (スタンドを含む)
入力電圧	DC 12 V
消費電力 (AC アダプタ付)	39W (最大)、スリープモードでは 2W 以下、オフモードでは 1W 以下
電源管理	VESA DPMS
対応 OS	Windows の場合 : 7、Vista、XP (32/64 ビット) Macintosh の場合 : OS X、v10.4 以上
保護パネル	強化 AG エッチングガラス
ケーブル	DVI-DVI ケーブル、DVI-RGB ケーブル、USB 接続ケーブル
USB ハブ	USB v2.0 パワードハブ、2 つの外付けポート付 (各ポート 500 mA)
使用温度および湿度	5° ~ 45°C、20 ~ 85%RH (結露がないこと)
保管温度および湿度	-10° ~ 60°C、20 ~ 90%RH (結露がないこと) (温度 60°C では最大保管湿度は 38%、湿度 90% では最大保管温度は 42°C)
適合規格	FCC Part 15 Subpart B (class B) & C、CE、VCCI Class B、C-tick、BSMI、KCC、CCC、CB、The European RoHS Directive 2002/95/EC、Chinese RoHS、Korean RoHS、国際エネルギースタープログラム、グリーン購入法、J-Moss グリーンマーク、電気用品安全法





ディスプレイ DTU-2231

駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリックス液晶 (TN 方式)
表示サイズ	21.5 型
縦横比	16 : 9
ピクセル数	1920 × 1080
入力信号	アナログ RGB 信号 0.7 Vp-p、75 Ω、正極性 同期信号 ...TTL レベル、2.2 kΩ、極性自由 (水平 / 垂直分離または複合同期信号) デジタル信号 ...DVI 1.0
出力信号	アナログ : アナログ出力 ビデオ : RGB (75 Ω 負荷) デジタル信号 : TTL 出力
解像度 (単位 : ピクセル)	1920 × 1080、1680 × 1050、1440 × 900、1280 × 1024、1280 × 960、1280 × 800、 1152 × 864、1024 × 768、800 × 600、640 × 480 (すべて 60 Hz での値)
表示エリア	476.64 × 268.11 mm
画素ピッチ	0.24825 × 0.24825 mm
視野角 (標準値)	水平 170° / 垂直 160°
表示色	1677 万色 256 階調
コントラスト比 (標準値)	700 : 1
応答速度	5 ms (立ち上がり / 立ち下がり)
輝度 (明るさ) (標準値)	200 cd/m ²
OSD 手動操作	明るさ、コントラスト、ピッチ、フェーズ、垂直位置、水平位置、透明度、オートア ジャスト機能、言語、バックライト、メニュー位置、リセット、スケーリング、色温度 (9300K/6500K/5000K/ 手動調整 / ダイレクト)
プラグ&プレイ	DDC2B、DDC/CI
液晶の品質	液晶パネルは非常に高い精密度の技術で作られていますが、まれに画素欠けや常時点灯 の画素がある場合があります。故障ではありません。 静止画を長時間表示したあとに残像が生じることがありますが、時間がたつと徐々に元 に戻ります。





タブレット **DTU-2231**

読取方式	電磁誘導方式 (Electro Magnetic Resonance technology)
読取可能範囲	476.64 × 268.11 mm
読取分解能	0.01 mm/ポイント (2540 lpi)
読取精度	±0.5 mm ただし、操作面の周辺部は、 ・幅 20 mm の範囲は ±2.0 mm ・幅 3 mm の範囲は ±4.0 mm
読取可能高さ	5 mm
データ転送速度	最高 133 ポイント/秒
インタフェース	USB
筆圧レベル	512 レベル

AC アダプタ **DTU-2231**

入力電圧	AC100 ~ 240 V、50/60 Hz
出力電圧	DC12 V、5.0 A (最大)

モデル DTU-1631 液晶ペンタブレット

- [一般仕様](#)
- [ディスプレイ](#)
- [タブレット](#)
- [AC アダプタ](#)

一般仕様 **DTU-1631C/DTU-1631E**

外形寸法 (W × D × H)	420.0 × 283.0 × 49.0 mm (スタンドを除く)
質量	4.3 kg (スタンドを含む)
入力電圧	DC 12 V
消費電力 (AC アダプタ付)	29W (最大)、スリープモードでは 2W 以下、オフモードでは 1W 以下
電源管理	VESA DPMS
対応 OS	Windows の場合 : 7、Vista、XP (32/64 ビット) Macintosh の場合 : OS X、v10.4 以上
保護パネル	強化ガラス
ケーブル	DTU-1631C : DVI-DVI ケーブル、DVI-RGB ケーブル、USB 接続ケーブル DTU-1631E : DVI-DVI ケーブル、DVI-RGB ケーブル、USB 接続ケーブル、シリアルケーブル
USB ハブ	USB v2.0 パワードハブ、2 つの外付けポート付き (各ポート 500 mA)
使用温度および湿度	5° ~ 35°C、20 ~ 80%RH (結露がないこと)
保管温度および湿度	-10° ~ 60°C、20 ~ 90%RH (結露がないこと) (温度 60°C では最大保管湿度は 38%、湿度 90% では最大保管温度は 42°C)
適合規格	FCC Part 15 Subpart B (class B) & C、CE、VCCI Class B、C-tick、BSMI、KCC、CCC、CB、The European RoHS Directive 2002/95/EC、Chinese RoHS、Korean RoHS、国際エネルギースタープログラム、グリーン購入法、J-Moss グリーンマーク、電気用品安全法





ディスプレイ DTU-1631C/DTU-1631E

駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリックス液晶 (TN 方式)
表示サイズ	15.6 インチ、346.23 × 195.54 mm
縦横比	16 : 9
ピクセル数	1366 × 768
入力ビデオコネクタ	DVI-I (29 ピン)
入力信号	デジタル: DVI 1.0 準拠 / アナログ RGB
出力ビデオコネクタ	DVI-I (29 ピン)
出力信号	デジタル: DVI 1.0 準拠 / アナログ RGB
解像度 (単位: ピクセル)	1366 × 768、1280 × 768、1024 × 768、1024 × 720、800 × 600、640 × 480 (すべて 60 Hz での値)
画素ピッチ	0.252 × 0.252 mm
視野角 (標準値)	(水平 / 垂直) 90° (45°/45°) / 65° (20°/45°)
表示色	1677 万色、256 階調
コントラスト比 (標準値)	400 : 1
応答速度 (Tr+Tf)	8 ms
輝度 (明るさ) (標準値)	255 cd/m ²
OSD 手動操作	明るさ、コントラスト、ピッチ、フェーズ、垂直位置、水平位置、透明度、オートアジャスト機能、言語、バックライト、メニュー位置、リセット、スケーリング、色温度 (9300K/6500K/5000K/ダイレクト / 手動調整)
プラグ&プレイ	DDC 2B、DDC/CI
液晶の品質	液晶パネルは非常に高い精度の技術で作られていますが、まれに画素欠けや常時点灯の画素がある場合があります。故障ではありません。 静止画を長時間表示したあとに残像が生じることがありますが、時間がたつと徐々に元に戻ります。





タブレット **DTU-1631C/DTU-1631E**

読取方式	電磁誘導方式 (Electro-magnetic resonance technology)
操作エリア	346.2 × 195.5 mm
読取分解能	0.01 mm/ポイント (2540 lpi)
読取精度	±0.5 mm ただし、操作面の周辺部は、 ・幅 20 mm の範囲は ±2.0 mm ・幅 3 mm の範囲は ±4.0 mm
読取可能高さ	5 mm 以上
データ転送速度	最高 133 ポイント/秒
ペン傾斜角度	垂直から 40 度 (コーナー部を除く)
インタフェース	DTU-1631C : USB DTU-1631E : USB、シリアル
筆圧レベル	512 レベル

AC アダプタ **DTU-1631C/DTU-1631E**

入力電圧	AC100 ~ 240 V、50/60 Hz
出力電圧	DC12 V、3.5 A (最大)

電子ペン

モデル	DTU-2231/DTU-1631C : UP-817E-80A DTU-1631E : UP-817E-77A
外形寸法 (L × D)	147.5 × 12.5 mm
質量	約 12 g
ペン先の動作ストローク	約 0.2 mm
消しゴムの動作ストローク	約 0.2 mm

お買い上げの製品構成により、付属の電子ペンは異なる場合があります。





RADIO AND TELEVISION INTERFERENCE

The equipment described in this manual generates, uses, and can radiate radio-frequency energy. If it is not installed and used properly – that is, in strict accordance with applicable instructions – it may cause interference with radio and television reception.

FCC NOTICE

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.

This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

You can determine whether the equipment is causing interference by powering it off. If the interference stops, it was probably caused by the equipment.

If the equipment does cause interference to radio or television reception, you may be able to correct the interference by using one or more of the following measures:

- Rotate the television or radio antenna until the interference stops.
- Move the equipment farther away from the television or radio.
- Plug the equipment and computer into an outlet that is on a different circuit from the television or radio.

If necessary, consult your Wacom dealer or an experienced radio/television technician for help.

Changes or modifications to this product not authorized by Wacom could void the FCC Certification and negate your authority to operate the product.

See also [Industry Canada \(Canada only\)](#) and [CE declaration](#).





INDUSTRY CANADA (CANADA ONLY)

Industry Canada, Class B

“This Class (B) digital apparatus complies with Canadian ICES-003”

“Cet appareil numérique de la classe (B) est conforme à la norme NMB-003 du Canada.”

CE DECLARATION

Interactive pen display, models DTU-2231 and DTU-1631, have been tested and found to comply with the following harmonized European Norms:

- IEC 60950-1:2005 (2nd Edition)
- EN 60950-1:2006 + A11:2009
- EN 55022 :2006+A1:2007
- EN 61000-3-2: 2006
- EN 61000-3-3: 1995+A1:2001+A2:2005
- EN 55024: 1998+A1:2001+A2:2003
 - IEC61000-4-2: 2008
 - IEC61000-4-3: 2008
 - IEC61000-4-4:2004 +Corr.1:2006 +Corr.2:2007
 - IEC61000-4-5: 2005
 - IEC61000-4-6: 2008
 - IEC61000-4-8: 2001
 - IEC61000-4-11: 2004

Based on the results of these tests, Wacom declares that the above mentioned device conforms to the EMC Directive 2004/108/EC.

Based on the results of these tests, Wacom declares that the above mentioned device conforms to the Safety Directive 2006/95/EC.

The device must be installed and operated always in strict accordance to the instructions given in this manual. Any changes or modifications to this product that were not specially authorized by Wacom will invalidate this declaration.

COMMISSION REGULATION (EC) No 1275/2008 of 17 December 2008 implementing Directive 2005/32/EC of the European Parliament and of the Council with regard to ecodesign requirements for standby and off mode electric power consumption of electrical and electronic household and office equipment.





安全上のご注意

本書では、本機を正しくお使いいただくために、下記のような絵表示をしています。ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、記載事項を守ってお使いください。

【表示の説明】

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

【絵表示の意味】

「禁止」事項を示しています。

「強制」事項（必ずすること）を示しています。

「電源を抜く」を示しています。

「分解しない」を示しています。

「水に濡らさない」を示しています。

⚠ 警告

■お子様の手の届く場所には置かないでください。事故、けがなどの原因になります

・小さなお子様が電子ペンや替え芯などを口の中に入れていないようご注意ください。芯やサイドスイッチなどが抜けて飲み込んだり、また電子ペンが故障する恐れがあります。

・製品のパッケージまたは包装袋は、お子様が誤って飲み込んだり、被ったりして遊ぶことのないようご注意ください。

■落下などにより本機が故障した場合は、電源ケーブルをコンセントから取り外す
電源ケーブルを接続したまま放置すると、火災や感電の原因になることがあります。













■電子機器の使用を禁止された場所では電源を切る
航空機など電子機器の使用を禁止された場所では、他の電子装置に影響を与える場合がありますので、本機から AC アダプタを抜いて電源をオフにしてください。

■ケーブルが傷んでいるときは使わない
ケーブルに深い傷がある、またはケーブルの被膜が破れた場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店、もしくはワコムサポートセンターにご相談ください。故障、感電、火災の原因になります。






■雷が近くに来ている時は使用を控え、電源を抜く
落雷により、故障、感電、火災の原因になります。
























- 
■高度な安全性や信頼性が要求される設備の制御システムには使用しない
 他の電子装置に影響を与えたり、他の電子装置から影響を受けて誤作動することがあります。
- 
■製品の開口部等に異物を挿入しない
 本機の開口部およびケーブルのコネクタ端子部に金属および異物を挿入したりすると、故障、感電、焼損の原因になります。
- 
■低温やけどについて
 本機(液晶パネルなど)に長時間、体の同じ部分が触れたまましていると、低温やけどを起こす場合があります。ご注意ください。
- 
■裏蓋を開けない
 本機の内部には高電圧部分が多くあります。サービスマン以外の方は、本機の裏蓋を開けないでください。火災や感電の原因になります。
- 
■分解をしない
 本機を分解したり改造しないでください。発熱・発火・感電・けがなどの原因になります。一度でも本機を分解した場合は、保証が無効となりますのでご注意ください。
- 
■水に濡らさない
 水や液体に濡れると、故障、感電の原因になります。本機からケーブル類を抜き、使用を中止し、販売店、もしくはワコムサポートセンターにご相談下さい。
- 電源プラグ・ACアダプタについて**
 - 
 ・電源プラグのほこりは定期的に取り除いてください。たまったほこりに湿気などが加わると、火災の原因になります。
 - 
 ・ACアダプタのコードを傷つけたり、無理に曲げたり束ねたりしないでください。また、重いものの下に敷いたり熱したりしないでください。火災や感電、故障の原因になります。
 - 
 ・ACアダプタを開けたり加工したりしないでください。火災や感電の原因になります。
 - 
 ・万一、ACアダプタから煙が出たり変な臭いがしたときは、ただちにコンセントから抜いてお買い上げの販売店、またはワコムサポートセンターに修理をご依頼ください。
 - 
 ・付属のACアダプタ以外絶対に使用しないでください。火災や故障の原因になります。
 - 
 ・濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電や故障の原因になります。

注意

- 
■ほこりがかからないように使う
 故障の原因になります。
- 
■お手入れの時はケーブル類を取り外す
 お手入れの時は、ケーブル類をコンピュータと本機のコネクタ端子部から取り外してください。感電の原因になることがあります。
- 
■不安定な場所に置かない
 ぐらついたり傾いたりした場所、また振動の激しい場所に本機を置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。
- 
■DVIでお使いの場合は
 DVIに準拠したグラフィックボード以外使用しないでください。故障の原因になります。
- 
■重いものを置かない
 本機の上に乗ったり、重いものを置かないでください。故障の原因になることがあります。





- 
■動作中に金属を載せない
 本機を使用しているときに、本機の上に金属性のものを載せないでください。誤作動や故障の原因になります。
- 
■裏面の換気孔をふさがない
 本体内部が過熱し、故障の原因になります。
- 
■温度が高すぎる場所や低すぎる場所に置かない
 暑い場所（35℃以上）や寒い場所（5℃以下）に本機を置かないでください。また、温度変化の激しい場所や高湿度、ほこりっぽい場所、直射日光にさらされる場所に置かないでください。本体や部品に悪影響を与え、故障の原因になります。
- 
■ケーブルに力を加えない
 本機のケーブルに重いものを載せたり、踏んだりしないでください。また、付け根部分に過度の力を加えたり、曲げ伸ばしを繰り返したりしないでください。断線や故障の原因になります。
- 
■アルコール、ベンゼン、アセトンなどの有機溶剤で本機や電子ペンを拭かない
 ヒビ割れ、塗装落ち、変色などが生じる場合があります。
- 
■ケーブルを持って本機を引っ張ったりしない
 故障の原因になります。
- 
■スタンドを持って持ち上げない
 スタンドに過度の力が加わると、開閉機構が壊れる恐れがあります。本機を持ち上げるときは、本体を持ってください。
- 
■漏れた液晶に触れない
 液晶には刺激性があります。万一、液晶が漏れた場合は素手で触れないでください。触れたり目に入った場合は、ただちに15分以上流水で洗い、医師に相談してください。
- 
■本機や電子ペンを落下させない
 故障の原因になります。
- 
■電源が入っているときはケーブルなどを抜き差ししない
 コンピュータおよび本機の電源が入っているときには、ケーブルや AC アダプタを抜き差ししないでください（USB 接続ケーブル除く）。本機やコンピュータが故障する恐れがあります。
- 電源プラグ・AC アダプタについて**
 - 
 ・電源ケーブルのプラグをコンセントに差し込むときは、アース線も接続してください。
 - 
 ・長時間お使いにならないときは、安全のため電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。
 - 
 ・お手入れのときは、AC アダプタを本機から取り外してください。感電の原因になることがあります。
- 電子ペンについて**
 - 
 ・付属の電子ペンで固いものを叩かないでください。故障の原因になります。
 - 
 ・ペン先、テールスイッチおよびサイドスイッチに無理な力を加えないで下さい。電子ペンの寿命が短くなったり、故障の原因になります。
 - 
 ・ペン先、テールスイッチおよびサイドスイッチが押された状態で、保管しないでください。故障の原因になります。
 - 
 ・電子ペンに磁石や磁気を近づけないようにしてください。誤動作する場合があります。
 - 
 ・芯に無理な力を加えたり曲げたりしないでください。曲がったり変形した芯を使いますと電子ペンが誤動作することがあります。
 - 
 ・弊社指定以外の芯先を使わないでください。故障の原因になります。





使用上のご注意

目の健康のため、以下のことにご注意ください

- 本機をお使いになるときは、必ず部屋を明るくし、本機の画面から十分に顔を離してお使いください。
- 長時間本機をお使いになるときは、適度に休憩をお取りください。

液晶表示部について、以下のことにご注意ください

液晶表示部は電子ペンであまり強く押さないようにしてください。電子ペンで強く押すと、波紋状の縞模様が見れることがあります。離すと戻ります。また、以下のような現象は液晶ディスプレイの特性であり、故障ではありませんのでご了承ください。

- 表示内容によっては、明るさにムラが生じることがあります。
- 表示内容によっては、ごく一部に点灯したまま、または点灯しないままの緑や赤、青のドットが見られることがあります。
- 細かい模様が表示されると、ちらつきや縞模様を生じることがあります。
- 静止画を長時間表示したあと残像が生じることがありますが、時間がたつと徐々にもとに戻ります。
- 使用時間の経過にともなうバックライトの光の変化により、表示状態が徐々に変化します。
- 画面を見る角度によっては、色合いが多少変わります。

本機をコンピュータに接続するとき、以下のことにご注意ください

- 付属の AC アダプタ以外は、絶対にお使いにならないでください。本機の故障の原因になります。
- 本機やコンピュータの電源がオンになっているときは、ケーブルや電源プラグを抜き差ししないでください(USB 接続ケーブルを除く)。本機やコンピュータが故障する恐れがあります。
- 市販のケーブルで接続すると、本機が故障する恐れがあります。必ず付属のケーブルで接続してください。
- 本機が対応していないグラフィックボードを使用すると、本機が故障する恐れがあります。必ずアナログ RGB または DVI 準拠のグラフィックボードをお使いください。
- DVI/VGA スイッチを正しく設定してください。

USB ハブのご利用について

本機は USB ハブを搭載しています。USB 対応のコンピュータに接続することにより、USB に対応している周辺機器と接続することができます。接続するスキャナ、ハードディスク、CD/CD-R ドライブなどの大きな電力を必要とする周辺機器によっては、動作しない場合があります。各周辺機器については、各メーカーにお問い合わせください。

その他、以下のことにご注意ください

他のタブレットなどの機器を本機のすぐ近くに置くと、その機器が影響を受けて誤動作することがあります。このような場合は、本機から少し離してお使いください。

本製品の仕向地について

本製品は日本国内向けに構成されています。





免責事項について

- 火災や地震、第三者による事故、お客様の故意または過失、誤用その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用や使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、データの変化や消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本書で説明している以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 他の接続機器、または当社製以外のソフトウェアとの組み合わせによる誤動作から生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。





用語

画面のポインタ：表示画面のポインタ。ポインタは、起動しているソフトウェアにより、I型ポインタ、矢印、あるいはボックスなど様々な形に変わります。

クリック圧：クリックする時、ペン先にかかる力の大きさ。

消しゴム対応ソフトウェア：電子ペンの消しゴム機能をサポートしているソフトウェア。ソフトウェアによっては、テールスイッチ（消しゴム）を別の機能に使うことができます。

修飾キー：Windows では [Shift]、[Alt]、[Ctrl] キー、Macintosh では、[shift]、[control]、[command]、[option] キーの修飾キーがあります。電子ペンは、サイドスイッチに修飾キーを対応するようにカスタマイズできます。

縦横比：タブレット、またはディスプレイ画面の縦と横の比率。

芯：ペン先で交換が可能な部分。

操作エリア：電子ペンが検出されるタブレットの描画領域。

ダブルクリックアシスト：ダブルクリック距離の大きさを設定することにより、ダブルクリックを簡単にする機能。

ダブルクリック距離：ペン先でダブルクリックするときに、2回目のクリックがずれてもよい距離を画面のドット数で表します。ダブルクリック距離を大きくすると、ペン先でダブルクリックしやすくなりますが、グラフィックソフトウェアによっては、線の引きはじめにポインタがダブルクリック距離の外へ出るまで線が現れないことがあります。

ダブルクリック速度：ダブルクリックの1回目と2回目のクリックの時間間隔の設定。遅くするとペン先でダブルクリックしやすくなりますが、グラフィックソフトウェアによっては、線の引きはじめに「ダブルクリックの速度」で設定されている時間が過ぎるまで線が現れないことがあります。

特定のソフトウェアに対する設定：ソフトウェアごとに電子ペンとタブレットの設定をカスタマイズします。コントロールパネルを使って、目的のソフトウェアで特別に機能するようにカスタマイズします。特定のソフトウェアに対する設定は、設定したソフトウェアを使用すると必ず実行されます。[特定のソフトウェアに対する設定](#)をご覧ください。

ピクセル：ディスプレイ画面上の最小の測定単位。

筆圧対応：筆圧の荷重を読み取るペン先と消しゴムの特性。これは、筆圧対応のソフトウェアで、ペン、ブラシ、消しゴムの自然な感じのストロークを作成するのに使用されます。

筆圧対応ソフトウェア：筆圧をサポートするソフトウェア。

ペンモード：ポインタの位置決めの方法。電子ペンをタブレット上に置くと、画面のポインタが画面上の対応点にジャンプします。これは絶対的位置決めと言われ、すべてのペンの標準設定です。ペンモードでは、先に画面上でポインタを確認してデスクトップ上で動かさなくても、ポインタの位置を決められます。[マウスモード](#)もご覧ください。





マウスの加速：ペンがマウスモードのとき、ポインタの加速を調節できます。

マウスモード：ポインタの位置決めの方法。ペン先をタブレット上に置くと、ポインタは、従来のマウスと同様に動いた方向と距離に応じて移動します。

これは相対的な位置決めです。[ペンモード](#)もご覧ください。

マウス速度：ペンがマウスモードのとき、ポインタのスピードを調節できます。

読取可能高さ：ペン先が検出されるタブレットの[操作エリア](#)からの高さ。

ラジアルメニュー：円型の階層メニュー。各階層のメニューは 8 つの項目から構成され、オプション機能を設定できます。メニューを表示するために、サイドスイッチに機能を割り当てる必要があります。

Tablet PC 入力パネル：Microsoft Windows Tablet PC 入力パネルで、電子ペンを使って手書きメモを作成したり、画面上のキーボードを使って文字入力を行うことができます。手書き文字が、入力パネルでテキストに変換されます。Tablet PC 入力パネルから入力した文字を文書や表計算、イラストに挿入できます。

USB：Universal Serial Bus。コンピュータの周辺装置を接続するためのハードウェアインタフェース規格。USB ポートはホットプラグをサポートし、これにより、コンピュータの電源を切らなくても USB デバイスの取り外しができます。

Windows Journal：紙のメモ帳の電子版だが、デジタルノートだけの特長も備えた Microsoft Windows ソフトウェア。たとえば、簡単に描画や手書きのメモを作成して、テキストに変換した後、デジタルデータとしてほかの人たちに送ることができます。Windows Journal には、電子ペンの消しゴムで動作する消しゴム機能が備えられています。Windows Journal では、手書きのコンテンツも検索できます。

Wintab：タブレットの情報を受け取る Windows ソフトウェアによって使用されるインタフェース規格。タブレットは、Windows 環境で Wintab と互換性のあるソフトウェアをすべてサポートします。





索引

数字		ペン先の感触	35
1:1	28	ラジアルメニュー	43
C		画像設定	28
CE declaration	76	画面を調整する	26
D		カラー設定	27
DC 電源入力端子	10	き	
DVI-I 出力コネクタ	10	機能	
DVI-I 入力コネクタ	10	コントロールパネル	31
DVI/VGA (デジタル/アナログ) スイッチ	10	タブレット	8
E		く	
EXIT	28	クリック	23
F		け	
FCC notice	75	消しゴム	12
I		消しゴムのカスタマイズ	36
Industry Canada statement	76	こ	
Interference, radio and television	75	コントラスト	27
O		コントロールパネル	30
OSD コントロール	8	さ	
OSD メニュー言語設定	27	サイドスイッチ	12
OSD メニュー表示設定	27	サイドスイッチのカスタマイズ	38
U		し	
USB ポート	10	仕様	70
W		省電力機能	29
Windows Tablet PC 入力パネル	69	芯の交換	63
あ		す	
明るさ	27	垂直位置	27, 28
アナログ RGB 接続の問題	53	水平位置	27, 28
アプリケーションボタン		スタンド	10, 64
位置	9	スタンド調整レバー	10
使い方	25	スタンドの角度調整	11
安全上のご注意	77	ステータスランプ	8
い		せ	
色温度	27	製品仕様	
お		DTU-1631 液晶ペンタブレット	72
オートアジャスト	28	DTU-2231 液晶ペンタブレット	70
か		電子ペン	74
角度を調整する	11	セキュリティロック・スロット	10
カスタマイズ		設定	
消しゴムの感触	36	コントロールパネル	30
サイドスイッチ	38	特定のソフトウェア	45
ダブルクリック	35		
電子ペン	35		





セットアップ			
ディスプレイ	14		
ペンタブレット	19		
全画面	28		
た			
ダイレクト	27		
縦横比	28, 44		
縦横比を保持	44		
ダブルクリック	23		
ダブルクリックのカスタマイズ	35		
タブレット			
お手入れ・保管	62		
各部の名称	8		
本体裏面	10		
本体正面	8		
機能	8		
テスト	49		
タブレット設定ファイルの管理	66		
タブレットドライバ			
アンインストール	65		
インストール	20		
ダウンロード	61		
て			
テールスイッチ	12		
テクニカルサポート	60		
デジタルインク機能	68		
テスト			
タブレット	49		
電子ペン	50		
電源ボタン	8		
電子ペン	12		
と			
透明度	27		
特定のソフトウェア	45		
ドライバのダウンロード	61		
ドラッグ	23		
トラブルシューティング			
タブレット			
Macintosh での問題	58		
Windows での問題	57		
一般的な問題	54		
ディスプレイ			
アナログ RGB の問題	53		
ディスプレイの一般の問題	51		
は			
バックライト輝度	27		
パワーランプ	8		
		ひ	
		筆圧	24
		筆圧を使って書く	24
		ピッチ	28
		表示サイズ設定	28
		表示設定	27
		ふ	
		フェーズ	28
		へ	
		ペン	
		カスタマイズ	35
		クリック	23
		消しゴムを使う	24
		サイドスイッチを使う	24
		ダブルクリック	23
		ドラッグ	23
		筆圧を使って描画する	24
		ペン先	12
		交換	63
		ペン紛失防止ケーブル取り付け穴	10
		ペンホルダー	10
		ほ	
		ポインタの位置決め	22
		ボタン機能	39
		ボタン部	8
		本書の使い方	6
		ま	
		マウントアーム	64
		マッピング画面	44
		マッピング画面切り替え	44
		マルチディスプレイ	24
		ゆ	
		ユーザー設定	27
		よ	
		読み取り高さ	50
		ら	
		ラジアルメニュー	43
		り	
		リセット	28





このページを印刷してご利用ください（「お問い合わせ」または「修理依頼」に○をつけてください）。太枠内を記入してください。

お問い合わせ

FAX 送付先 : 03-5309-1514

修理依頼

受付 No. _____

発信 _____ 年 _____ 月 _____ 日

お客さま	フリガナ		会社名	
	氏名		(学校名) ・所属部署	
	使用場所	会社(学校)・自宅	連絡先	会社(学校)・自宅
	住所	〒 _____ ※ 修理のご依頼の場合は、修理完了品の返送先をご記入ください。 E-mail : _____		
TEL () () ()		FAX () () ()		

タブレット	型式	DTU-2231/DTU-1631C/DTU-1631E	シリアル番号		
	タブレットドライバ	バージョン : _____			
	購入年月日	年 _____ 月 _____ 日			
使用環境	使用コンピューター	メーカー :	機種名 :		
		モデム内蔵 Yes・No	使用 OS	(バージョン : _____)	
	使用ソフトウェア	(バージョン : _____)			
	周辺機器など	種類	メーカー	機種名	接続ポート
		他のUSB機器			
		USBハブ			
		ディスプレイ			
グラフィックボード					
その他					
内容	現象発生日	年 _____ 月 _____ 日			
	現象発生頻度	常時・ときどき (システム起動時・使用中・その他 : _____)			
	内容				

ここに記入されたお客さまの個人情報は、お客さまへのサポート、および修理品の返却のみに利用し、それ以外に利用することはありません。





Wacom international offices

株式会社ワコム

〒 164-0012

東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー 21 階

インターネット:

<http://www.wacom.co.jp>

ワコムサポートセンター

電話: 0570-05-6000

受付時間 平日 9:00 ~ 20:00

土曜 10:00 ~ 17:00

(日曜、祝日および年末年始などの弊社指定
休日を除く)

WACOM TECHNOLOGY CORPORATION

1311 SE Cardinal Court

Vancouver, WA 98683

U.S.A.

Telephone: +1.360.896.9833

Fax: +1.360.896.9724

WACOM CHINA CORPORATION

Unit 2807, 28th Floor, SK Tower

No 6 Jia, Jianguomenwai Avenue,

Beijing, 100022, China

Internet: <http://www.wacom.com.cn>

WACOM AUSTRALIA PTY. LTD.

Unit 8, Stage 1 Cumberland Green

2-8 South Street Rydalmere

NSW 2116 Australia

Telephone: +61.2.9422.6700

Fax: +61.2.9420.2272

WACOM TAIWAN INFORMATION CO., LTD.

Suite 605, 6th floor, No. 205 Tun-Hwa North Road

Taipei, 105 Taiwan

Telephone: +886.2.2712.2675

Fax: +886.2.2712.9789

WACOM EUROPE GMBH

Europark Fichtenhain A9

47807 Krefeld

Germany

Telephone: +49.(0)2151.3614.0

Fax: +49.(0)2151.3614.111

WACOM CO., LTD.

ASIA PACIFIC MARKETING AND SALES DIVISION

Harmony Tower 18F, 1-32-2 Hon-Cho,

Nakano-Ku, Tokyo 164-0012

Japan

Telephone: +81.3.5309.1513

Fax: +81.3.5309.1514

WACOM KOREA CO., LTD.

25th Floor DMC iaan Sangam 2nd Complex, 1653

Sangam-dong, Mapo-gu, Seoul, Korea, 121-270

Telephone: +82.2.557.3894

Fax: +82.2.557.3895

WACOM SINGAPORE PTE. LTD.

3 Bishan Place,

CPF Bishan Building #06-08

Singapore 579838

Telephone: +65.6258.8640

Fax: +65.6258.8697

WACOM TECHNOLOGY CORPORATION

1311 SE Cardinal Court

Vancouver, WA 98683

U.S.A.

Telephone: +1.360.896.9833

Fax: +1.360.896.9724

